

2018年度前期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2018年4月～8月
No.	講座・WS名	テーマ	講師名 (敬称略)
1	美術 I	日本彫刻史入門	成城大学教授 岩佐光晴
2	自然 I (川崎学)	川と水をめぐる I (多摩川、鶴見川を中心とする 11 の断章)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
3	現代事情	政治家の言葉—メディアはそれにどう向き合うか	専修大学教授 山田健太ほか
4	イクセレント III	世界遺産との対話—世界遺産は私たちに何を問いかけるか	元文化庁長官 近藤誠一ほか
5	国際関係	中国の全体像と日中関係 (講座)	東京大学教授 川島 真ほか
WS-1	国際関係	中国の全体像と日中関係 (WS)	東京大学教授 川島 真ほか
6	いのちの科学	広がる生命科学の世界	東京大学名誉教授 浅島 誠ほか
7	日本の伝統芸能	日本の伝統芸能と音楽—日本人が歌い、奏でて来たもの	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか
8	新しい科学の世界	新しい科学の世界	国立天文台准教授 縣 秀彦ほか 神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 松島義章ほか
9	自然 II (川崎学)	川崎の自然 II—生き物や地形地質の変化 I	日本女子大学准教授 黒岩亮子ほか
WS-2	社会福祉	超高齢社会を考える—川崎市の計画・実践をてがかりに	筑波大学名誉教授 根本誠二ほか
10	日本史	日本の古代社会—東アジアとの交流を視座に	早稲田大学講師 松尾 光
WS-3	日本史	悲劇の皇子・皇女—古代史残照	樹木医 石井誠治ほか
11	みどり学 I	みどり学 I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか
12	みどり学 (フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	東京大学教授 野崎 敏ほか
13	文学	古典は新訳で召し上げ！ 古典新訳で楽しむ世界文学 II	早稲田大学講師 伊藤 博
WS-4	文学	「私」を生きたる文学—「私小説」の魅力を探求する	早稲田大学教授 桜井啓子ほか
14	イクセレント I	世界を旅する⑨イラン・ツアー	法政大学教授 陣内秀信ほか
15	建築と都市	地中海世界の都市と建築—陣内研究室のフィールド調査より	地域史研究家 関崎益男 産業考古学会会長 伊東 孝ほか
16	学び・歩くかわさき (川崎学)	かわさき地域の歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう ⑤	日本地名研究所 菊地恒雄ほか
WS-5	まち歩き (川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—お大師信仰と双盤念仏を聞く	信州大学教授 都築 勉ほか
17	政治・社会	明治から 150 年—日本における政治論の系譜	信州大学教授 都築 勉ほか
WS-6	政治・社会	丸山眞男を読む	東京交響楽団メンバーほか
18	音楽 III	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part24	NHK 文化センター講師 佐藤道子
WS-7	芸術	油絵を描く—技法を基本から学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
19	環境とみどり	持続可能な社会と環境—みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
WS-8	環境とみどり	身近な環境とみどりの探求	鎌倉女子大学教授 竹内整一ほか
20	人間学	人間学再論—「人・生」の考え方・味わい方・嗜み方	東京医療保健大学客員准教授 山本伸裕
WS-9	人間学	『歎異抄』をわかりやすく読み解く	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
21	音楽 I	モーツァルトの協奏曲の世界—華麗なる古典派協奏曲の誕生と完成—	音楽評論家 丹羽正明
22	音楽 II	「変奏曲」の名作を聴く	白百合女子大学講師 安富 順ほか
WS-10	音楽・芸能	近松再読	日本大学教授 関 幸彦ほか
23	宮前 (歴史)	東国武士団の動向—武蔵・相模の武士たちの群像	立教大学教授 竹中千春ほか
24	世界史	インド史	樹木医 石井誠治ほか
25	みどり学 II	みどり学 II—木や草が生活とつながるおもしろさを極める	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄ほか
26	山の自然学	山の自然学	多摩美術大学教授 中村隆夫
27	美術 II	いま見なければ損をする！ フランス美術の魅力が満載	多摩美術大学教授 諸川春樹
WS-11	美術 I・II	西洋絵画の達人養成講座	京都造形芸術大学講師 佐々木 創ほか
28	イクセレント II	室町時代の社会と文化—文化史から応仁の乱を考える	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
29	経済	経済危機と経済理論—だれにも分かる理論と現実のお話	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
WS-12	経済	人工知能 (AI) の開発と経済の近未来を考えてみませんか！	元 NHK プロデューサー 林 勝彦ほか
30	映像・メディア	懐かしの名作を語る—「私が愛した番組」「メディアジャーナリストのメッセージ」「映画を語る」	元放送大学客員教授 室伏 擴ほか
WS-13	科学	生命のしくみ、細胞から心と体の健康を考える	戦国史研究会会員 中西望介ほか
31	歴史 (川崎学)	いま問い直す、地域再発見 1	
<b>短期集中講座</b>			
101	短期集中	源氏物語の世界を語る	国文学者 藤原克己
102	短期集中	日本の野党	法政大学教授 山口二郎ほか
<b>大学連携講座</b>			
301	大学連携	素晴らしき舞台芸術 イタリア・オペラをもっと知る Vol. 2 ~そしてオペラの幕は上がる	昭和音楽大学教授 小畑恒夫ほか

2018年度後期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2018年9月～2018年2月
No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名 (敬称略)
1	美術 I	江戸時代の絵画を読む	東京学芸大学名誉教授 鈴木 廣之
2	自然 I (川崎学)	川と水をめぐる II (11 の断章)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
3	現代事情	分離・独立を主張する人びと—歴史的・地理的・政治的背景	中央大学名誉教授 若松 隆ほか
4	イクセレント III	世界遺産との対話—語りかける世界遺産 第 2 部	ミラノ工科大学客員教授 日高 健一郎ほか
5	国際関係	バルカンの戦争と国際政治	早稲田大学教授 久保慶一
WS-1	国際関係	ユーゴ内戦と国際政治	早稲田大学教授 久保慶一
6	いのちの科学	広がる生命科学の世界	滋賀医科大学名誉教授 谷 徹ほか
7	日本の伝統芸能	伝統芸能を知る—日本音楽の伝統と革新・特別編	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか 元東京工業大学学長/科学技術振興機構顧問 相澤益男ほか
8	新しい科学の世界	新しい科学の世界	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 松島義章ほか
9	自然 II (川崎学)	川崎の自然 II—生き物や地形地質の変化 2	NPO 法人楽理事長/前東洋大学准教授 柴田範子ほか
WS-2	社会福祉	共生社会を生きる—子供たちも障がい者も高齢者も認知症の人も、そして、自分も	駒澤大学前学長・名誉教授 廣瀬良弘ほか
10	日本史	日本の中世社会と宗教—新たな宗派の成立と社会の変革	関東学院大学講師 永井 晋
WS-3	日本史	北条氏の街鎌倉とその文化	樹木医 石井誠治ほか
11	みどり学 I	みどり学 I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか
12	みどり学 (フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	東京大学教授 小森 陽一ほか
13	宮前 (歴史)	発掘調査等からみる中世史—武蔵・相模の様相を探る	早稲田大学講師 伊藤 博
14	文学	石牟礼道子の文学世界	早稲田大学講師 伊藤 博
WS-4	文学	家族小説を読む—交錯する日常と非日常	首都大学東京教授 綾部真雄ほか
15	イクセレント I	世界を旅する⑩タイ・ツアー	東海大学教授 小沢朝江ほか
16	建築と都市	明治の都市と建築	産業考古学会理事 伊東 孝ほか
17	学び・歩くかわさき (川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう⑥	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか
WS-5	まち歩き (川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—川崎に条里制はあったのか	東京大学教授 宇野重規ほか
18	政治・社会	君主制の比較政治論 (日本の天皇制を含む)	成蹊大学教授 野口雅弘ほか
WS-6	政治・社会	マックス・ウェーバーを読む	東京交響楽団メンバーほか
19	音楽 III	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part25	NHK 文化センター講師 佐藤道子
WS-7	芸術	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
20	環境とみどり	持続可能な社会における環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
WS-8	環境とみどり	身近な環境とみどりの探求	鎌倉女子大学教授 竹内整一ほか
21	人間学	生老病死の思想—人間学再論	青山学院大学教授 高田祐彦
WS-9	人間学	『古今和歌集』の人間像	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
22	音楽 I	モーツァルトの交響曲を通して聴こう	国立音楽大学教授 横井雅子ほか
23	音楽 II	世界音楽の多様な表情—その豊穡な広がりを読み解く	白百合女子大学講師 安富 順ほか
WS-10	音楽・芸能	昭和の思い出の名優 その 1—17 代目中村勘三郎	首都大学東京名誉教授 森山茂徳ほか
24	世界史	世界史の中の日本と朝鮮—19 世紀から 21 世紀まで	樹木医 石井 誠治ほか
25	みどり学 II	みどり学 II—木や草が生活とつながる面白さを極める	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
26	山の自然学	山の自然学	東京造形大学教授 池上英洋ほか
27	美術 II	じっくり学ぶ 西洋の美術と文化の歴史—中世の始まりまで	元武蔵野美術大学教授 篠塚 千恵子
WS-11	美術 I・II	西洋古代絵画史入門—古代ギリシア絵画へのあこがれ	京都造形芸術大学講師 佐々木 創ほか
28	イクセレント II	室町時代の社会と文化 (2)—室町びとの労働・富・文化	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
29	経済	あのニュースの深層にも こんな経済問題が	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
WS-12	経済	情報技術革新の未来—仮想通貨/ブロックチェーン/分権型経済システム	元 NHK プロデューサー 林 勝彦ほか
30	映像・メディア	懐かしの名作を語る	元放送大学教授 室伏 擴ほか
WS-13	科学	生命のしくみ、生物の複雑性と多様性の獲得について	戦国史研究会会員 中西望介ほか
31	歴史 (川崎学)	いま問い直す、地域再発見 II	
<b>短期集中講座</b>			
101	短期集中	カズオ・イシグロへの招待	昭和女子大学名誉教授 平井杏子ほか
102	短期集中	世界の北斎—その作品と魅力	すみだ北斎美術館主任学芸員 奥田敦子ほか
<b>交流館協力・子育て支援講座</b>			
201	交流館協力	明治維新の群像—人物でたどる明治維新の諸相	徳川林政史研究所研究員 藤田英昭ほか
202	子育て支援	小学生から思春期「子どもに時間を返そう」	子ども相談室「モモの部屋」心理カウンセラー 内田良子ほか
<b>大学連携講座</b>			
301	大学連携	没後 150 年 いまロッシェニが面白い	昭和音楽大学教授 小畑恒夫ほか

前期

講座 1	<b>日本彫刻史入門</b>			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 美術 I 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	仏像に関する知識はなくても、仏像に興味を持っている人のための講座です。仏像を見ていく場合の基本となるその種類や形、技法について説明し、飛鳥時代から鎌倉時代にかけてダイナミックに展開した日本の仏像の歴史を、名品を中心にとどいていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	高津市民館 大会議室 (Nocty 2 12階)	仏像の種類と形	成城大学教授 岩佐光晴
2	4/23(月)		仏像の技法	
3	5/7(月)		名品でたどる日本彫刻史(飛鳥時代① 法隆寺金堂釈迦三尊像など)	
4	5/14(月)		名品でたどる日本彫刻史(飛鳥時代② 興福寺仏頭など)	
5	5/28(月)		名品でたどる日本彫刻史(奈良時代① 興福寺阿修羅像など)	
6	6/4(月)		名品でたどる日本彫刻史(奈良時代② 唐招提寺鑑真和上像など)	
7	6/11(月)		名品でたどる日本彫刻史(平安時代① 東寺講堂諸仏など)	
8	6/25(月)		名品でたどる日本彫刻史(平安時代② 醍醐寺薬師三尊像など)	
9	7/2(月)		名品でたどる日本彫刻史(平安時代③ 平等院鳳凰堂阿彌陀如来像など)	
10	7/9(月)		名品でたどる日本彫刻史(平安時代④ 中尊寺金色堂諸仏など)	
11	7/23(月)		名品でたどる日本彫刻史(鎌倉時代① 東大寺南大門金剛力士像など)	
12	7/30(月)		名品でたどる日本彫刻史(鎌倉時代② 三十三間堂諸仏など)	

受講登録者数 169名 (男性 71名 女性 98名) 出席者総数 1,788名

後期

講座 1	<b>江戸時代の絵画を読む</b>			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 美術 I 【時間】毎回 10時30分～12時00分 但し、第3回目は9時25分～10時55分、第4回目 11時00分～12時30分 (計12回)			
概要	本講では江戸時代の絵画史を学ぶ。序論では、明治以降の日本美術史のなかで江戸時代の絵画がどのような評価を受けてきたのか概観する。本論「江戸時代絵画を読む(1)～(10)」では、毎回、一点の絵画作品をとりあげ、その造形上の特色、描かれた意味内容、制作の背景などに着目して作品への理解を深める。なお、以下に取り上げた作品は変更される可能性があります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(月)	高津市民館 大会議室 (Nocty 2 12階)	ガイダンス	東京学芸大学名誉教授 鈴木廣之
2	10/29(月)		序論：江戸時代の絵画はどう見られてきたか？	
3	11/5(月) 9:25～10:55		江戸時代絵画を読む(1)「風俗図屏風」(彦根屏風)彦根城博物館	
4	11/5(月) 11:00～12:30		江戸時代絵画を読む(2)岩佐又兵衛「人麿・貴之図」MOA美術館	
5	11/12(月)		江戸時代絵画を読む(3)宗達「蓮地水禽図」京都国立博物館	
6	11/26(月)		江戸時代絵画を読む(4)酒井抱一「夏草草図屏風」東京国立博物館	
7	12/3(月)		江戸時代絵画を読む(5)池大雅「東山青音帖」個人蔵	
8	12/10(月)		江戸時代絵画を読む(6)与謝蕪村「夜色楼台図」個人蔵	
9	1/28(月)		江戸時代絵画を読む(7)伊藤若冲「野菜涅槃図」京都国立博物館	
10	2/4(月)		江戸時代絵画を読む(8)曾我蕭白「群仙図屏風」文化庁	
11	2/25(月)		江戸時代絵画を読む(9)鈴木春信「坐鋪八景」シカゴ美術館	
12	3/4(月)		江戸時代絵画を読む(10)葛飾北斎「富嶽三十六景」とまとめ	

受講登録者数 126名 (男性 46名 女性 80名) 出席者総数 1,324名

前期

講座 2	<b>川と水をめぐる I (多摩川、鶴見川を中心とする 11 の断章)</b>			
	【定員】50名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 自然 I (川崎学) 【時間】座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分予定、6/4は8時00分～18時00分予定 (計12回)			
概要	自然界における川が果たす役割や、営力、川の多様にして動的な自然、人と川、水の関わりを、川、水そのものから探ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	川崎市生涯学習プラザ	川と水をめぐる序章	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2	4/16(月)	西国分寺から国分寺界限	多摩川の残した地形	帝京平成大学講師・理学博士 小森次郎
3	4/23(月)	川崎市生涯学習プラザ	日本の河川地形と伝統漁法	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
4	4/30(月)	登戸付近多摩川	タンポポたちの出会いの場である河原と土手で、植物たちの遺伝的不可逆変化を探る(ルーベ必携)	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
5	5/14(月)	新横浜、小机	鶴見川鳥山川合流付近の河道変遷	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
6	5/21(月)	川崎市生涯学習プラザ	流路移動ということ	帝京平成大学講師・理学博士 小森次郎
7	5/28(月)	大田区武蔵新田、沼部	多摩川中流域の流路変遷 流路移動を新田義興の祟りで辿る&地形を克服する女掘	多摩川流域自然史研究会代表 増淵 和夫
8,9	6/4(月)	利根大堰、妻沼聖天山、別府沼公園ほか	乱流、氾濫する利根川と荒川。国宝歓喜院聖天堂は氾濫の地に建つ(バス利用)	
10	6/18(月)	稲城市穴澤天神、ありがた山	多摩川洪水伝説、穴澤天神のクロスミナと弁天洞窟の神水、南山ありがた山の宙水	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島 義章
11	6/25(月)	川崎市生涯学習プラザ	相模川のつくれた地形	
12	7/2(月)	川崎市生涯学習プラザ	川がつくれた地形、後期へ向けて	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫

※6/4(月)はバスの借り上げ費用等で別途 5,000 円集金。(バスの手配は富士急トラベル) ※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。受講登録者数 51名 (男性 28名 女性 23名) 出席者総数 520名

後期

講座 2	<b>川と水をめぐる II (11 の断章)</b>			
	【定員】50名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 自然 I (川崎学) 【時間】座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分予定、10/22は8時00分～18時00分予定 (計12回)			
概要	川がつくる地形、地形形成と環境変動、里川という視点、人が川に及ぼす影響などについて見て、学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(月)	川崎市生涯学習プラザ	川という自然	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2,3	10/22(月)	喜連川丘陵、洞窟酒蔵、荒川、江川・龍門の滝、那珂川、鬼怒川	川の地形と人 穿入蛇行、段丘、滝地形、鮭遡上、多摩川と同時期の広大な扇状地、里川(川廻し)、網状流、礫河原再生	
4	10/29(月)	川崎市生涯学習プラザ	河川による地形形成と地殻変動、環境変動 1	帝京平成大学准教授・理学博士 小森次郎
5	11/5(月)	南足柄市酒匂川	富士宝永噴火後の土砂氾濫災害に立ち向かう人々	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
6	11/12(月)	横浜市旭区帷子川 (鶴ヶ峰付近→今川公園)	水乏都市・横浜の湧水と河川水の形成	
7	11/19(月)	川崎市生涯学習プラザ	魚がのびやすい川づくりのために 河川横断工作物が自然に与える影響	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
8	11/26(月)	越谷 葛西用水、 瓦菅根溜井	溜井に咲くキタミソウ(絶滅危惧Ⅱ類)をご存知ですか。葛西用水の独特の溜井構造が育む時限発生の植生	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
9	12/3(月)	多摩川中流部 (日野用水堰～多摩大橋)	人為的改変の影響を受けた多摩川の今 河床低下、護床工、付帯施設としての魚道等	多摩川流域自然史研究会 勝越 清紀
10	12/10(月)	多摩川左岸地区羽田	漁師町という名の多摩川デルタ	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
11	1/21(月)	川崎市生涯学習プラザ	酒匂川の生い立ちと地形形成	
12	1/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	河川による地形形成と地殻変動、環境変動 2	帝京平成大学准教授・理学博士 小森次郎

※10/22(月)はバスの借り上げ費用等で別途 4,000 円集金。(バスの手配は富士急トラベル) ※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。受講登録者数 55名 (男性 32名 女性 23名) 出席者総数 535名

前期

講座 3	<b>政治家の言葉—メディアはそれにどう向き合うか</b>			
	【定員】144名 【受講料】2年会員4,320円 1年会員4,860円 聴講生6,480円			
現代事情		【時間】10時30分～12時00分		
概要	言論の府である国会で戦わされるべき議論が、政権側の言葉の意味をずらしたりすりかえてしまう論法のために議論が成立せず、疑惑や問題点は残されたままになっています。論点ずらしやすさに対してメディアはどのように向かい、問題の核心に迫ることができているか。そしてメディアは憲法が保障する「表現の自由」を守り、強化する努力をしているのか。メディアが自律するためにどうすればよいかを考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	今こそ問われるジャーナリズム倫理	専修大学教授 山田 健太
2	4/16(月)		ネットメディアから考える	JCASTニュース代表 蛭川 真夫
3	5/14(月)		記者クラブ制度を問う	東京新聞社会部記者 望月 衣笠子
4	5/28(月)		報道番組の現場から	報道特集メインキャスター 金平茂紀
5	6/4(月)		調査報道への挑戦	ワセダクニシ編集長 渡辺 周
6	6/18(月)		言葉を伝える広報から、行動を観察・記録するジャーナリズムへ	法政大学教授 別府 三奈子

受講登録者数 92名 (男性 67名 女性 25名) 出席者総数 501名

後期

講座 3	<b>分離・独立を主張する人びと—歴史的・地理的・政治的背景</b>			
	【定員】144名 【受講料】2年会員4,320円 1年会員4,860円 聴講生6,480円			
現代事情		【時間】毎回10時30分～12時00分(計6回)		
概要	分離・独立をめぐる問題を考えるとき、私たちはとすれば、民族が違うのだから当然とか、古くからの対立が表面化した、といった「そもそも論」で理解しようとする。それとは逆に、民族主義は隠れ蓑で実態は経済利害の問題に過ぎない、というような暴露的言説を「リアルな」認識だと思込む人もいる。この連続講義では、現代世界における特徴的な事例を論じながら、ものごとを一面的に割り切るのではなく、構造的かつ複眼的に捉えることを提唱する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	スペインの分離・独立問題 (カタルーニャとバスク)	中央大学名誉教授 若松 隆
2	10/22(月)		2014年の住民投票—スコットランドの現在・過去・未来	日本大学教授 渡邊 容一郎
3	11/5(月)		シーア派・クルド人・カリフ制—中東の非国家主体の行方	東京大学准教授 池内 恵
4	11/12(月)		旧ソ連諸国の民族問題と分離・独立問題 (ウクライナに焦点を置いて)	東京大学名誉教授 塩川 伸明
5	11/19(月)		現代中国の民族問題 (チベットとウイグル)	東京大学教授 平野 聡
6	12/10(月)		〈周縁〉からの異議申し立て—沖縄独立論の系譜	国際基督教大学教授 田仲 康博

受講登録者数 129名 (男性 87名 女性 42名) 出席者総数 636名

前期

講座 4	<b>世界遺産との対話—世界遺産は私たちに何を問いかけるか</b>			
	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
エクセレントⅢ		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	ユネスコによる世界遺産の保護は、貴重な遺産の保護に貢献してきました。本講座では、「地球規模で遺産を守るしくみとは?世界遺産の全体像」、「大切な世界遺産を適切に守るためには?世界遺産の課題」、「語りかける世界遺産(1):文化・自然・人間」、「語りかける世界遺産(2):アジアと世界」という構成(各6回)により、多様な分野の専門家から世界遺産の現状と今後の課題を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	世界遺産制度の意義と成果	近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官 近藤誠一
2	4/16(月)		世界遺産と日本	国士舘大学イラク古代文化研究所教授 岡田保良
3	5/7(月)		世界遺産にみる文化の多様性	東京大学大学院・同大学先端科学技術研究センター教授 西村幸夫
4	5/14(月)		文化遺産の多様性	ミラノ工科大学建築学部客員教授・大阪大学招聘教授・筑波大学名誉教授 日高 健一郎
5	5/21(月)		地理からみた世界遺産	公益社団法人東京地学協会副会長・元国土地理院長 星 埜由尚
6	5/28(月)		地球科学からみた世界遺産	金沢大学環日本海域環境研究センター教授 塚脇真二
7	6/11(月)		世界遺産と観光(1)	桜美林大学講師 内田 二郎
8	6/18(月)		世界遺産と観光(2)	
9	6/25(月)		危機遺産とどのように向き合うか	ミラノ工科大学建築学部客員教授・大阪大学招聘教授・筑波大学名誉教授 日高 健一郎
10	7/2(月)		世界遺産の保護・修復	三重大大学教授 花里利一
11	7/9(月)		国内世界遺産の現実と課題	東京大学名誉教授 五味文彦
12	7/30(月)		世界遺産制度の将来と展望	ミラノ工科大学建築学部客員教授・大阪大学招聘教授・筑波大学名誉教授 日高 健一郎

受講登録者数 48名 (男性 28名 女性 20名) 出席者総数 483名

後期

講座 4	<b>世界遺産との対話—語りかける世界遺産 第2部</b>			
	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
エクセレントⅢ		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	世界遺産の総論と課題を扱った前期講座の多角的な内容を踏まえ、後期では、個別の遺産を地域別に解説します。訪れたことのある遺産、あるいは初めて画像を見る遺産など、変化に富む世界遺産の様々な表情を現地調査による最新情報とともに、居ながらにして楽しんでいただく講義です。ベテランから若手気鋭の研究者まで、多彩な講師とともに、各地の世界遺産探訪旅行の基礎知識を学ぶ機会としても、ぜひこの講座を活用してください。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イタリアの世界遺産—都市と田園の風景	法政大学特任教授 陣内秀信
2	10/15(月)		世界遺産の建築—文化、自然、人間の接点として(1)	ミラノ工科大学建築学部客員教授/大阪大学招聘教授/筑波大学名誉教授 日高 健一郎
3	10/22(月)		世界遺産の建築—文化、自然、人間の接点として(2)	公益社団法人東京地学協会副会長・元国土地理院長 星 埜由尚
4	10/29(月)		景観の視点から見た日本の世界遺産—伝統的景観を地図に見る	東京文化財研究所保存科学研究センター アソシエイトフェロー 林 美木子
5	11/5(月)		世界遺産とアイデンティティー—中国山西省応県木塔などを例に語る	東京藝術大学 大学院美術研究科 特別研究員(PD)、講師 日高 翠
6	11/12(月)		バルカンの修道院壁画の修復	日本建築学会副会長/博物館明治村館長/早稲田大学名誉教授 ユネスコ世界遺産研究所所長/日本政府アンコール遺跡救済チーム団長 中川 武
7	11/19(月)		アンコール、ワット・プー、フエ、ピューの古代都市遺跡	金沢大学環日本海域環境研究センター教授 塚脇真二
8	11/26(月)		カンボジアのアンコール世界遺産—文化財と自然、そして地域社会	岡山大学 大学院環境生命科学研究科 教授 森 也寸志
9	12/10(月)		フィリピン・コルディエーラの棚田群の現地調査から	筑波大学 芸術系 教授 上北 恭史
10	12/17(月)		インドネシアのプランバナン遺跡の修復—国際協力の課題	国士舘大学イラク古代文化研究所教授 岡田保良
11	1/21(月)		危機に瀕するシリア・イラクの文明遺産	ミラノ工科大学建築学部客員教授 日高 健一郎
12	1/28(月)		ハギア・ソフィア大聖堂(イスタンブール)の解説と世界遺産講座のまとめ	

受講登録者数 73名 (男性 35名 女性 38名) 出席者総数 701名

前期

講座 5	中国の全体像と日中関係 (講座)			
	【定員】72名	【受講料】 2年会員 8,640円	1年会員 9,720円	聴講生 12,960円
	国際関係 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	世界第2位の経済大国に躍進した中国であるが、その国家モデルは前例がなく、今後も目が離せない。特に隣国日本は引越すこともできず、今後も中国と向き合ねばならない。その中国をどう見るのか。この講義では中国の政治、外交、経済について理解を深め、その上で歴史、民族、台湾などの論点に迫る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	中国の全体像	東京大学教授 川島 真
2	4/16(月)		中国の政治	防衛省防衛研究所主任研究官 杉浦康之
3	4/23(月)		中国人民解放軍とはどのような軍隊か	
4	5/14(月)		中国の外交	東京大学教授 川島 真
5	5/21(月)		中国経済の最前線	東京大学准教授 伊藤亜聖
6	5/28(月)		「一帯一路」政策と中国の対外投資	東京大学教授 川島真
7	6/4(月)		中国における法治と人治	
8	6/11(月)		中国の社会	東京大学准教授 阿古智子 公衆環境研究室センター代表 馬 軍
9	6/18(月)		中国の民族問題と少数民族	東京大学教授 川島 真
10	6/25(月)		中国と台湾の関係をどう見るか	法政大学教授 福田 円
11	7/2(月)		歴史認識をめぐる問題について	東京大学教授 川島 真
12	7/9(月)		中国の現在と日中関係	東京大学教授 川島 真

受講登録者数 153名 (男性 125名 女性 28名) 出席者総数 1,578名

後期

講座 5	バルカンの戦争と国際政治			
	【定員】72名	【受講料】 2年会員 8,640円	1年会員 9,720円	聴講生 12,960円
	国際関係 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	バルカン半島は今日までに、数々の戦争を経験してきました。この講義では、現地に住む諸民族の利害関心と、バルカンを取り巻く諸大国の関与の双方を考慮しながら、バルカン戦争からユーゴ内戦までの一連の戦争の原因と結果を読み解いていくことを目指します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション～バルカンの諸民族とその支配者たち～	早稲田大学教授 久保慶一
2	10/22(月)		バルカンの歴史(1)～民族国家の形成とバルカン戦争～	
3	10/29(月)		バルカンの歴史(2)～第一次世界大戦と戦後秩序～	
4	11/5(月)		バルカンの歴史(3)～戦後秩序の動揺と第二次世界大戦～	
5	11/12(月)		冷戦期のバルカン(1)～共産主義体制の政治経済～	
6	11/19(月)		冷戦期のバルカン(2)～国際環境の変化と民主化～	
7	11/26(月)		バルカンの民族紛争(1)～ユーゴ内戦はなぜ起きたか～	
8	12/3(月)		バルカンの民族紛争(2)～「民族浄化」の原因と帰結～	
9	12/10(月)		バルカンの民族紛争(3)～内戦と独裁体制化の連関～	
10	12/17(月)		バルカンをめぐる国際政治(1)～内戦への人道的介入～	
11	1/21(月)		バルカンをめぐる国際政治(2)～紛争後の平和構築支援～	
12	1/28(月)		バルカンをめぐる国際政治(3)～米・欧・露の攻防～	

受講登録者数 89名 (男性 64名 女性 25名) 出席者総数 869名

前期

WS 1	中国の全体像と日中関係 (WS)			
	【定員】30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円		
	【ワークショップ】 国際関係 【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)			
概要	世界第2位の経済大国に躍進した中国であるが、その国家モデルは前例がなく、今後も目が離せない。特に隣国日本は引越すこともできず、今後も中国と向き合ねばならない。その中国をどう見るのか。このWSでは講義や文献を踏まえて、自らの見方や考え方を確認し、新たな知見の獲得を目指す。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	中国の全体像	東京大学教授 川島 真
2	4/16(月)		中国の政治	防衛省防衛研究所主任研究官 杉浦康之
3	4/23(月)		中国人民解放軍とはどのような軍隊か	
4	5/14(月)		中国の外交	東京大学教授 川島 真
5	5/21(月)		中国経済の最前線	東京大学准教授 伊藤亜聖
6	5/28(月)		「一帯一路」政策と中国の対外投資	東京大学教授 川島 真
7	6/4(月)		中国における法治と人治	
8	6/11(月)		中国の社会	東京大学准教授 阿古智子
9	6/18(月)		中国の民族問題と少数民族	東京大学教授 川島 真
10	6/25(月)		中国と台湾の関係をどう見るか	法政大学教授 福田 円
11	7/2(月)		歴史認識をめぐる問題について	東京大学教授 川島 真
12	7/9(月)		中国の現在と日中関係	東京大学教授 川島 真

受講登録者数 37名 (男性 27名 女性 10名) 出席者総数 398名

後期

WS 1	ユーゴ内戦と国際政治			
	【定員】30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円		
	【ワークショップ】 国際関係 【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)			
概要	旧ユーゴ地域では、冷戦終焉後に激しい民族紛争が勃発し、国際社会の注目を集めました。このワークショップでは、一連のユーゴ内戦の原因と帰結、そしてその解決に向けた国際社会の取り組みの実態とその是非について、議論をしながら理解を深めていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション～旧ユーゴ諸民族の歴史と文化～	早稲田大学教授 久保慶一
2	10/22(月)		第一次世界大戦と第一次ユーゴの形成	
3	10/29(月)		第一次ユーゴにおける民族間の対立	
4	11/5(月)		第二次ユーゴにおける諸民族の共存	
5	11/12(月)		民主化と第二次ユーゴの解体	
6	11/19(月)		クオアチア内戦の原因と帰結	
7	11/26(月)		ボスニア内戦の原因と帰結	
8	12/3(月)		コソボ内戦の原因と帰結	
9	12/10(月)		内戦への人道的介入の是非	
10	12/17(月)		旧ユーゴ戦犯法廷への協力をめぐる政治の力学	
11	1/21(月)		強制力か、自発性かー紛争後平和構築のジレンマ	
12	1/28(月)		EU加盟プロセスと旧ユーゴ諸国間の和解	

受講登録者数 26名 (男性 20名 女性 6名) 出席者総数 271名

前期

講座 6 広がる生命科学の世界				
【定員】72名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円				
いのちの科学 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)				
概要 最新の話題とともに、これまでと同様、広がる生命科学の基礎知識の理解を深めることに重点を置いています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(月)	川崎市生涯学習プラザ	生命科学の現状と課題 —生き物に学ぶ	東京大学名誉教授、産業技術総合研究所名誉フェロー 浅島 誠
2	4/23(月)		ノーベル賞をとった「体内時計」って何?	北海道大学客員教授、科学ジャーナリスト 内村直之
3	5/7(月)		生きものである人間として生きる —生命誌という総合知—	J T生命誌研究館館長 中村桂子
4	5/14(月)		ゲノム編集と生命倫理	北海道大学客員教授、科学ジャーナリスト 内村直之
5	5/21(月)		がん死ゼロ健康長寿社会を目指して : QST/量研の試み	量子科学技術研究開発機構構理事 平野俊夫
6	5/28(月)		南極のコケボーズの話	第58次南極越冬隊員 田辺 優貴子
7	6/11(月)		東京湾でのアマモ場再生活動 市民が担う自然再生	一般財団法人みなと総合研究所 主任研究員 菅家英朗
8	6/18(月)		再生医療の現状	東京大学名誉教授、産業技術総合研究所名誉フェロー 浅島 誠
9	6/25(月)		新しいリンパ球の発見	理化学研究所総合生命医科学研究センターチームリーダー 茂呂和世
10	7/2(月)		歯ミガキの哲学	日本歯内療法学会専門医・事務局長 西野博喜
11	7/9(月)		好奇心は遺伝子で決まるのか?	科学ジャーナリスト、元NHKプロデューサー 林 勝彦
12	7/30(月)		法律家から見た生命(いのち)	横浜国立大学客員教授、弁護士 中道 徹

受講登録者数 74名 (男性 49名 女性 25名) 出席者総数 729名

後期

講座 6 広がる生命科学の世界				
【定員】72名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円				
いのちの科学 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)				
概要 最新の話題とともに、これまでと同様、広がる生命科学の基礎知識の理解を深めることに重点を置いています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(月)	川崎市生涯学習プラザ	体を透視しながら手術する次世代の手術システムの開発	滋賀医科大学名誉教授 谷 徹
2	10/22(月)		ノーベル賞を考える	名古屋大学国際機構特任教授 辻 篤子
3	10/29(月)		地球に生命が誕生するまでの『8つの偶然』	大正大学客員教授、元NHK解説主幹 室山哲也
4	11/5(月)		こうしてヒトが生まれた	工学院大学特任教授、東京大学非常勤講師 水島純子
5	11/12(月)		新型出生前診断とは? —障がいについて考える	信濃毎日新聞社報道部次長 小松恵永
6	11/19(月)		依存症がもたらす社会の分断取材して	工学院大学特任教授、東京大学非常勤講師 水島純子
7	11/26(月)		クローン動物について—クローン人間作製が禁じられている理由	朝日新聞論説委員(科学・医療担当) 行方史郎
8	12/3(月)		不妊治療のいま・むかし	中央大学理工学部応用化学科教授 小松晃之
9	12/10(月)		人工血液の開発—研究最前線はいま	朝日新聞論説委員(科学・医療担当) 行方史郎
10	12/17(月)		デザイナーベビーの予感 —遺伝子操作は人類に福音をもたらすか	NPO法人エコプラス代表、科学ジャーナリスト 大前純一
11	1/21(月)		マイクロネシアのヤップ島と新潟県魚沼地区にみる気候変動	元淑徳大学教授 横山裕道
12	1/28(月)		忘れてはならない生命倫理	

受講登録者数 72名 (男性 49名 女性 23名) 出席者総数 756名

前期

講座 7 日本の伝統芸能と音楽・日本人が歌い、奏でて来たもの				
【定員】200名 【受講料】2年会員 10,800円 1年会員 11,880円 聴講生 15,120円				
日本の伝統芸能 【時間】毎回13時30分～15時00分(計12回)				
概要 日本の伝統芸能は長い歴史を背景に時代ごとの特徴を持つ多彩なものです。また、古典芸能ばかりではなく、地域に伝わる民俗芸能の豊富なことも世界に類を見ません。この講座では様々な芸能を映像などの資料で概観するだけでなく、ゲストによる演奏も含め、アジア各地の芸能との関連も探ります。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(月)	高津市民館 大会議室 (Nocty 2 12階)	はじめに: 芸能の始原と本質をさぐる	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/23(月)		古代芸能: 雅楽における外来要素と日本の変容	
3	5/7(月)		中世の芸能: 能、狂言における日本文化の独自性	
4	5/14(月)		近世の芸能(1): 歌舞伎、文楽の娯楽性と音楽	
5	5/28(月)		近世の芸能(2): 箏曲の音楽性を探る (実演) 吉原佐知子	
6	6/4(月)		アジアの関連芸能: モンゴル音楽—馬子唄にも似たモンゴル民謡や馬頭琴の魅力 (ゲスト) オットホンバイラ(オルテンダー)、ポルドエルデネ(ホーミー)、タラー(ヤタグ(箏))、ドルギオン(馬頭琴・ホーミー) *1	
7	6/11(月)		近世の芸能(3): 語り物音楽の魅力 (ゲスト) 清元栄吉(三味線)、清元延寿鏡(清元) *2	
8	6/25(月)		民俗芸能の世界: 共同体を支えるエネルギー	
9	7/2(月)		西洋とのふれあい: 軍楽隊、賛美歌に始まる洋楽の受容	
10	7/9(月)		新日本音楽: 宮城道雄とその時代	
11	7/23(月)		現代邦楽を聴く: 三曲合奏の伝統と革新 (ゲスト) 野澤佐保子、大友美由奈、大河内淳矢 *3	
12	7/30(月)		おわりに: 伝統芸能に未来はあるか	

\*1,\*2,\*3の回は演奏家の方を招いて演奏会をしました。(左記演奏会は講座の受講生以外の方も資料代として1,000円で参加できる公開演奏会) 受講登録者数 51名 (男性 26名 女性 25名) 出席者総数 536名

後期

講座 7 伝統芸能を知る—日本音楽の伝統と革新・特別編				
【定員】200名 【受講料】2年会員 10,800円 1年会員 11,880円 聴講生 15,120円				
日本の伝統芸能 【時間】毎回13時30分～15時00分(計12回)				
概要 本講座でかつて反響の多かった演目や珍しい楽器が一挙大集合。今期だけの特別なラインナップが実現します。鑑賞や実践を通じて、伝統音楽の深さと新しさを再確認します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(月)	高津市民館 大会議室 (Nocty 2 12階)	はじめに 日本音楽の伝統と革新	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/22(月)		楽器にしひがし—東西の楽器を比較、考察	
3	10/29(月)		日本の音階を知る	
4	11/5(月)		日本のリズムを考える	
5	11/12(月)		二十五絃箏—多弦箏の試み 【ゲスト】本間貴士、多田彩子 **1	
6	11/26(月)		琉球古典音楽—箏・三線を知る 【ゲスト】名嘉 ヨシ子、照喜名 朝國 **2	
7	12/3(月)		一絃琴—究極の弦楽器 【ゲスト】峯岸一水 **3	
8	12/10(月)		雅楽の新しい楽しみ—笙・琵琶・和琴の魅力 【ゲスト】石川 高、中村 かほる **4	
9	1/28(月)		新春コンサート—邦楽の伝統と現代 【ゲスト】山口賢治、吉原 佐知子、大友 美由奈	
10	2/4(月)		能楽の世界—謡曲を学ぶ 【ゲスト】鶴沢 久	
11	2/25(月)		明清楽実験講座—失われた伝統、月琴を弾いてみよう	
12	3/4(月)		まとめ 日本音楽の未来	

\*\*1,\*\*2,\*\*3,\*\*4の回は演奏家の方を招いて演奏会をしました。(左記演奏会は講座の受講生以外の方も資料代として1,000円で参加できる公開演奏会) 受講登録者数 55名 (男性 30名 女性 25名) 出席者総数 533名

前期

新しい科学の世界				
講座 8	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	新しい科学の世界 【時間】座学10時30分～12時00分 現地1回の開始/終了時間は、2回分10時30分開始、14時30分予定。(12回)			
概要 最新の話題のほか、今期はとくに異常気象や地震に対する防災対策、宇宙科学、地球の科学に力点を置いた講座構成になっています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	地震のメカニズム—多様な地震像—	防災科学技術研究所地震津波防災研究部門 総括主任研究員 関口渉次
2	4/17(火)		地震災害の軽減に向けて —リアルタイム地震被害推定システムの開発—	防災科学技術研究所社会防災システム 研究部門長 藤原広行
3	4/24(火)		ノーベル賞をとった重力波が拓く新しい物理の世界	文部省宇宙科学研究所(現JAXA) 名誉教授 河島信樹
4	5/8(火)		集中豪雨のメカニズムとその予測	防災科学技術研究所水・土砂防災研究部門特別 研究員 加藤亮平
5	5/15(火)		地球外生命体は存在するか—アストロバイオロジーの世紀	国立天文台准教授 縣 秀彦
6	6/5(火)		『長野県は宇宙県』—宙(そら)ツーリズムによる地域振興	理化学研究所仁科加速器研究センター研究員 磯部 忠昭
7	6/12(火)		中性子星って何だ?	案内役: 防災科学技術研究所職員 講演: 社会防災システム研究部門研究員 池田真幸
8,9	6/19(火)	つくば市 防災科学 技術研究所	(見学)15mm～300mm 毎時の雨を降らせることができる 世界最大級の施設大型降雨実験施設等 (講演)防災活動及び災害対応における情報の利活用について	東京大学大学院工学系研究科准教授 船瀬 龍
10	6/26(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	超小型探査機による新しい太陽系探査への挑戦	地球技術研究所代表 荒川文生
11	7/3(火)		AI(人工知能)は人間を超えるか	
12	7/10(火)		電気学会のドン・キホーテとして原発事故に挑む	

受講登録者数 72名 (男性 56名 女性 16名) 出席者総数 675名

前期

川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化 I				
講座 9	【定員】40名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	自然Ⅱ(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分、ただし野外学習は見学地の状況により多少時間が前後しますが学習内容記載の時間を参考に なさってください。(計12回)			
概要 生き物や地形地質は、1.季節で変わる、2.地域環境で変わる、3.年によって変わる、4.地質年代で変わる。この変化する事例を川崎市域から県域にかけて探してみよう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(火)	川崎市生涯 学習プラザ	増える外来(帰化)植物	元東京大学大学院農学生命科学特任研究員 北川淑子
2	4/24(火)	川崎市 麻生区黒川	黒川農耕地にも広がる外来(帰化)植物 (9:30～12:00 予定)	
3	5/8(火)	川崎市生涯 学習プラザ	海岸の環境や季節による生物相の変化	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 博士(海洋科学) 村岡健作
4	5/15(火)	逗子市新宿海岸	逗子市新宿海岸の岩礁域にみられる生きもの観察 (9:30～12:30 予定)	
5	6/5(火)	川崎市生涯 学習プラザ	景観から自然を読む	前 かわさき宙(そら)と緑の科学館学芸員 (自然担当係長) 川島逸郎
6	6/12(火)	生田緑地日本民 家園	里峰—古民家で人と共存する里地の昆虫観察 (10:30～12:00 予定)	
7	6/26(火)	川崎市生涯 学習プラザ	川崎市域、特に鶴見川流域の水害を歴史的にみる	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
8,9	7/3(火)	大磯丘陵 (バス利用)	大磯丘陵に分布する第四紀後期に形成された地形・ 地質の観察 バス利用(8:00～18:00 予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任研究員 笠間友博
10	7/10(火)	川崎市生涯 学習プラザ	相模川における流路変遷を地質学的に探る	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島義章
11,12	7/17(火)	藤沢・片瀬江ノ島	藤沢龍口寺境内に見られる礫層、江ノ島に残されてい る礫層の観察(9:30～15:00 予定)	

※4/17(火)10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

※第8,9回7/3(火)はバス借上げ代等で別途5,000円ほど集金。バスの手配は、富士急トラベルに委託。

受講登録者数 32名 (男性 14名 女性 18名) 出席者総数 325名

後期

新しい科学の世界				
講座 8	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	新しい科学の世界 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要 最新の話題を追ったほか、今期はとくに宇宙科学や地球科学、原発などに焦点をおいた講座構成になっています。(座学のみ)				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	私たちは星屑からできている	国立天文台准教授 山岡 均
2	10/9(火)		オーロラから分かること	東京大学名誉教授 国分 征
3	10/16(火)		原発の「トイレ」はどうする?	原子力発電環境整備機構(NUMO) 地域交流部長 高橋徹治
4	10/23(火)		福島原発事故の避難者取材して	朝日新聞記者 青木美希
5	11/6(火)		宇宙は最初の3分間ですべて決まる	法政大学経済学部教授(物理学研究室) 藤田真崇
6	11/13(火)		世界を変えた科学～なるほど、そうだったのか!～	元東京工業大学学長、科学技術振興機構顧問 相澤益男
7	11/20(火)		小惑星探査機「はやぶさ2」のタッチダウン	元NEC技術部長、日本スペースガード協会理事 山本 威一郎
8	11/27(火)		世界を変える科学～創造する未来～	元東京工業大学学長、科学技術振興機構顧問 相澤益男
9	12/4(火)		足尾銅山の光と陰—足尾銅山が遺したもの	法政大学経済学部教授(物理学研究室) 藤田真崇
10	12/11(火)		驚くべき中国の科学技術の躍進	科学技術振興機構 中国総合研究・ さくらサイエンスセンター 上席フェロー 沖村憲樹
11	1/22(火)		新しい天文学と暦	国立天文台准教授 山岡 均
12	2/12(火)		中国の再生エネルギー開発取材して	NHK報道局政経・国際番組部チーフ・ディレクター 安部康之

受講登録者数 77名 (男性 58名 女性 19名) 出席者総数 774名

後期

川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化 2				
講座 9	【定員】40名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	自然Ⅱ(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分、ただし野外学習は見学地の状況により多少時間が前後しますが学習内容記載の時間を 参考にしてください。(計12回)			
概要 川崎市域は多摩川の右岸側に位置し、北西～南東方向に細長い形を示す。その西半分が多摩丘陵と下末吉台地、東半分が多摩川・鶴見川沖積低地と埋立地からなる。この大地には種々雑多の生きものが生息分布している。この多様な川崎の自然の変化について、前期に引き続き隣接する地域との比較をしながら室内学習と野外観察を実施して理解を深める。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(火)	川崎市生涯 学習プラザ	バッタ目の生活と、彼らからみた川崎の自然環境	前 かわさき宙(そら)と緑の科学館学芸員 (自然担当係長) 川島逸郎
2	10/9(火)	生田緑地	生田緑地の昆虫観察—バッタ目を中心に (10:30～12:00 予定)	
3	10/16(火)		秋を特徴づけるきのこ類—食毒きのこの見分け方 (10:30～12:00 予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 薬用植物ときのこの会世話人代表 生出智哉
4	10/23(火)	川崎市生涯 学習プラザ	菌界の象徴はきのこ(担子菌と子のう菌)を調べる	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任研究員 笠間友博
5,6	11/6(火)	三浦半島 (バス利用)	三浦半島南部の丘陵と台地の地形・地質の観察 (8:30～18:00 予定)	
7	11/20(火)	川崎市生涯 学習プラザ	東京湾西岸の川崎—横浜地区で生じる高潮災害について	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
8	11/27(火)	鎌倉市市街地	古都鎌倉で明らかにされていた過去3回の津波記録	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島義章
9,10	12/4(火)	鎌倉市市街地	鎌倉で1923年9月1日の大正関東地震に伴う津波浸 水域を歩く(10:00～15:00 予定)	
11	1/15(火)	川崎市生涯 学習プラザ	雑木林の冬芽を探る	元東京大学大学院農学生命科学特任研究員 北川淑子
12	1/22(火)	横浜寺家 ふるさと村	寺家ふるさと村で冬芽を観察しよう (9:30～12:00 予定)	

※10/2(火)10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第5,6回11/6(火)はバス借上げ代等で別途5,000円程  
集金。バスの手配は、富士急トラベルに委託。

受講登録者数 33名 (男性 16名 女性 17名) 出席者総数 337名

前期

WS 2	超高齢社会を考えるー川崎市の計画・実践をてがかりに ※講義の後に討論あり			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに8,640円 聴講生9,720円			
	【ワークショップ】社会福祉 【時間】毎回10時15分～12時15分(計8回)			
概要	「人生100年時代」ー私たちはそれを真に幸せなものとして捉えることができますか？本ワークショップでは、超高齢社会の現実や、それを「生き抜く」ための様々な実践や行政、社会福祉協議会の取組みを学び、より良く生きるためのてがかりにしてみたいと思います。※すべての回にコーディネーターも出席し、授業の後半は講師・受講者・コーディネーターを交えて議論する予定です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/5(火)	川崎市生涯学習プラザ	超高齢社会における社会福祉のゆえ	日本女子大学人間社会学部准教授 黒岩亮子
2	6/12(火)		超高齢社会を乗り越えるー福祉コミュニティの諸相	首都大学東京都市環境学部教授 和田清美
3	6/19(火)		超高齢社会の不安を考えるー社会保障のゆえ	日本女子大学人間社会学部准教授 坪洋一
4	6/26(火)		超高齢社会で活躍するーこれからの社会福祉協議会の役割とは？	川崎市社会福祉協議会 中島 洋一
5	7/3(火)		超高齢社会に向き合うー小規模多機能施設の実践から	上布田つどいの家ハウス長 谷 大樹
6	7/10(火)		超高齢社会を計画するーこれからの行政の役割とは？	川崎市役所健康福祉局 久保真人
7	7/17(火)	川崎区桜本	当事者意識を持って地域課題の解決に挑む	社会福祉法人 青丘社 職員ほか
8	7/31(火)	川崎市生涯学習プラザ	超高齢社会を「生き抜く」ために	日本女子大学人間社会学部准教授 黒岩 亮子

受講登録者数 16名 (男性 10名 女性 6名) 出席者総数 104名

後期

WS 2	共生社会を生きるー子供たちも障がい者も高齢者も認知症の人も、そして、自分も ※講義の後に討論あり			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに8,640円 聴講生9,720円			
	【ワークショップ】社会福祉 【時間】毎回10時15分～12時15分(計8回)			
概要	今、暮らしている馴染んだ地域・自宅で暮らしたいと言う願いは誰もが持つものです。しかし、この時代、子供たちも障がい者も高齢者も認知症の人も、自分自身も決して生きやすい時代ではないと感じることはないでしょうか。自分だけ良ければと言う考え方は地域社会の成熟は遠い先になってしまいます。どんなことを知り、行動したら、少しでも暮らしやすい地域に近づけるのでしょうか。皆さんが気になっていることを共に学び、これから活かしましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	150万人都市、川崎の課題を知る	特定非営利活動法人楽理事長 前東洋大学ライフデザイン学部准教授 柴田 範子
2	10/9(火)		地域関係の薄い今の、子どもと親の現状・課題を知る	社会福祉法人母子育成会 しゃんぐりらこども家庭支援センター ソーシャルワーカー・保育士 三瓶優美
3	10/23(火)		障がいを持つ人の地域生活をもっと知る	社会福祉法人川崎聖風会たじま家庭支援センター長 江良泰成
4	11/6(火)		誰もが認知症になる可能性大の時代、あるべき生き方と現状を知る	川崎市認知症ネットワーク代表 柿沼矩子
5	11/20(火)		地域の誰もが暮らしやすい地域づくりに取り組む実践報告	介護福祉ボランティアグループすずの会代表 鈴木恵子
6	12/4(火)		誰にも訪れる親・自分自身の健康・介護問題と家族信託	株式会社第一ハウジング社長 加藤 豊
7	1/15(火)		避けて通れない介護を経験した介護家族からの報告	認知症の家族を見送った2家族
8	1/22(火)		7回の学習を通して得たこと、感じたことのグループワークとまとめ	特定非営利活動法人楽理事長 前東洋大学ライフデザイン学部准教授 柴田 範子

受講登録者数 9名 (男性 6名 女性 3名) 出席者総数 57名

前期

講座 10	日本の古代社会ー東アジアとの交流を視座に				
	【定員】144名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円				
	日本史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要	日本の古代社会について、東アジアとくに中国・朝鮮との交流の視座を念頭に考察する講座です。仏教の伝来、社会規範の律令官制の導入など、多くの影響を受けた古代日本は、遣隋使や遣唐使の派遣を通じて中国大陸の政治や社会制度、宗教や文化などの摂取を行い、やがて日本独自の思想や信仰、文化や生活のスタイルを生み出していきました。こうした諸状況などの特色について紹介します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	東アジア世界と仏教伝来	筑波大学名誉教授 根本誠二	
2	4/17(火)		聖徳太子と法隆寺の建立		
3	4/24(火)		遣唐使と留学生・留学僧の往来		
4	5/8(火)		行基の仏教と社会事業		
5	5/15(火)		大仏造立と天皇・貴族層		
6	6/5(火)		鑑真の来日と奈良の仏教者		
7	6/12(火)		日本霊異記の世界	日本大学教授 中村順昭	
8	6/19(火)		菅原道真と遣唐使の廃止		
9	6/26(火)		王朝文化の成立～唐様から和様へ		
10	7/3(火)		末法思想と浄土教		
11	7/10(火)		怨霊・御霊と信仰		日本大学講師 鈴木 哲
12	7/17(火)		入唐僧～最澄・空海と密教		筑波大学名誉教授 根本誠二

受講登録者数 149名 (男性 110名 女性 39名) 出席者総数 1,540名

後期

講座 10	日本の中世社会と宗教ー新たな宗派の成立と社会の変革			
	【定員】144名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	日本史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	日本の中世社会について、浄土宗・浄土真宗・時宗・臨済宗・曹洞宗・日蓮宗などの新たな仏教宗派の成立と展開を中心に、信仰に係わる人びとの姿を探ることを主題とします。また古代から中世への時代の展開、中国仏教の影響、真言宗の展開、中世の修験道、さらには武士と仏教、宗教界における女性の地位、仏伝と唱導文芸など、仏教による社会変革の諸相についても紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	禅宗の受容ー栄西・蘭溪・無学・道元などー	駒澤大学前学長・名誉教授 廣瀬良弘
2	10/9(火)		五山派・臨済宗と曹洞宗の展開	
3	10/16(火)		禅宗文化ー茶・精進料理・能・水墨画・枯山水・建築などー	
4	10/23(火)		中世の真言宗	大正大学名誉教授 吉米地 誠一
5	11/6(火)		法然と専修念仏ー選択の時代ー	筑波大学名誉教授 今井雅晴
6	11/13(火)		親鸞と信心の念仏ー家族とともに生きるー	
7	11/20(火)		一遍と遊行の念仏ーすべてを捨ててー	
8	11/27(火)		日蓮と日蓮宗	立正大学仏教学部長・教授 寺尾英智
9	12/4(火)		武士の極楽浄土への願いー熊谷直実を例にー	筑波大学名誉教授 今井雅晴
10	12/11(火)		中世の修験道	埼玉県立文書館主任学芸員 関口 真規子
11	1/15(火)		中世の女性と宗教ー巫女と遊女と尼ー	筑波大学名誉教授 今井雅晴
12	1/22(火)		仏伝と中世の唱導文芸	立教大学名誉教授 小峯 和明

受講登録者数 155名 (男性 116名 女性 39名) 出席者総数 1,620名

前期

WS 3		悲劇の皇子・皇女-古代史残照			※グループ発表あり	
【定員】40名		【受講料】2年会員・1年会員ともに7,560円		聴講生 8,640円		
【ワークショップ】日本史		【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)				
概要 古代の王族たちといえば、華やかな宮廷で敬慕され、かすかすに優雅な日々を送っていたようなイメージがあります。しかし実は、あるときには勢い込んで自己主張していたかなければならず、またあるときには身に覚えがないにも拘わらず政治状況に弄ばれて命を落として消えていきました。その生きざまを辿ることで、古代史の裏面を探ってみましょう。						
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	4/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	オリエンテーション 基調講義 / 聖徳太子 ～ 敬仰から疑惑の対象へ	早稲田大学講師 松尾 光		
2	4/24(火)		山背大兄王, 古人大兄皇子 ～ 私たちには何が不足していたのか			
3	5/15(火)		大友皇子, 大津皇子 ～ 皇位が目の前だったというのに			
4	6/12(火)		長屋王 ～ 冤罪のままなぜ葬られたのか			
5	6/26(火)		不破内親王, 井上内親王 ～ 渴望と不満だらけの人生			
6	7/10(火)		早良親王 ～ 私が日本最初の怨霊となったわけ			
7	7/17(火)		最終講義 / 恒貞親王 ～ 悲劇を招いた美談のツケとは			

ワークショップは、講師をアドバイザーとして、受講者グループによる発表と質疑を取り入れたゼミ形式で行います。  
受講登録者数 39名 (男性 23名 女性 16名) 出席者総数 246名

後期

WS 3		北条氏の街鎌倉とその文化			※グループ発表あり	
【定員】40名		【受講料】2年・1年会員ともに7,560円		聴講生 8,640円		
【ワークショップ】日本史		【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)				
概要 源頼朝が武家政権の本拠地に定めた鎌倉は、京都に次ぐ第二の政権都市として発展を遂げます。源家三代の時代は辺境に成立した地方都市でしたが、三代執権北条泰時時代の時代になってようやく、政権の所在地としての風格を整えはじめます。このワークショップでは、北条氏が主導した時代の鎌倉の政治と文化について探究します。						
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	10/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	(総論講義) 鎌倉を繁栄に導いた北条氏とそれを象徴する文化について	関東学院大学講師 永井 晋		
2	10/9(火)		(課題1) 鎌倉の街がどのように発展したのか、都市形成の歴史を報告			
3	10/16(火)		(課題2) 鎌倉を護持した天台・真言の密教の形成と役割について報告			
4	10/23(火)		(課題3) 鎌倉時代の鎌倉で発展した禅宗・律宗の役割に関する報告			
5	11/6(火)		(課題4) 蒙古襲来後の日元関係と貿易についての報告			
6	11/13(火)		(課題5) 鎌倉仏教から発展した文化にどのようなものがあるかの報告			
7	1/22(火)		(総括) 日本文化の原点のひとつとしての鎌倉文化			

受講生による発表と質疑を取り入れたゼミ形式で行います。受講登録者数 27名 (男性 20名 女性 7名) 出席者総数 169名

前期

講座 11		みどり学 I - 身近な自然に興味を持ち親しみを深める				
【定員】90名		【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円				
みどり学 I 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分、5/15・6/5は8時00分～18時00分予定(計12回)						
概要 みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。						
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)	
1	4/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	地上で最も多様なハンター、クモの生態	A・B班実施	日本蜘蛛学会 新井浩司	
2,3	4/17(火)	六義園	江戸時代に流行したツツジ園芸の歴史見学	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治	
	4/24(火)			B班実施・A班休み		
4	5/8(火)	川崎市生涯学習プラザ	ミツバチから見える地域の環境	A・B班実施	NPO 銀座ミツバチプロジェクト 理事長 田中淳夫	
5,6	5/15(火)	栃木県日光市(日光植物園)	日光にある結構な場所: 東大植物園分園の魅力を探る(バス利用)	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令	
	6/5(火)			B班実施・A班休み		
7	6/12(火)	川崎市生涯学習プラザ	身近なアリの不思議な社会生活	A・B班実施	東京農工大学准教授 佐藤俊幸	
8,9	6/19(火)	猿島	日本原産のアシサイが昔の姿で残る無人島に上陸	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治	
	6/26(火)			B班実施・A班休み		
10	7/3(火)		世界コウモリ紀行	A・B班実施	コウモリ写真家 大沢夕志	
11	7/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	身近な雑草入門	A・B班実施	樹木・環境ネットワーク 中西 由美子	
12	7/17(火)		日本の桜があぶない!危険なカミキリムシが各地で繁殖。	A・B班実施	樹木医 石井誠治	

※本講座は、みどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講。※4/10(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第5,6回5/15,6/5は、バス借上げ代等で別途5,000円集金(バスの手配は、富士急トラベル)。

受講登録者数 95名 (男性 42名 女性 53名) 出席者総数 1,004名

後期

講座 11		みどり学 I - 身近な自然に興味を持ち親しみを深める				
【定員】90名		【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円				
みどり学 I 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分、10/9,10/16は8時00分～18時00分予定(計12回)						
概要 みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。						
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)	
1	10/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	アメリカのみどり事情～バタフライガーデンと17年ゼミ～	A・B班実施	千葉大学准教授 野村昌史	
2	10/9(火)	富士山(バス利用)	日本一の富士山と紅葉、癒しの里の秋を楽しむ	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令	
				B班実施・A班休み		
4	10/23(火)	川崎市生涯学習プラザ	タヌキから見た自然	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀	
5	11/6(火)		ミズミの願い「もっと私を知ってほしい!」	A・B班実施	ミズミ研究家 石塚 小太郎	
6	11/13(火)	大宮盆栽村	世界が注目!盆栽の聖地、大宮盆栽村と盆栽美術館の見学	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治	
				B班実施・A班休み		
8	11/27(火)	川崎市生涯学習プラザ	江戸の町並みに秘められた謎と忠臣蔵のミステリー	A・B班実施	NPO 法人日本水フォーラム 代表理事 竹村 公太郎	
9	12/4(火)	東京港野鳥公園	埋立地にできた野鳥の楽園、大井野鳥公園散策	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治	
				B班実施・A班休み		
11	1/15(火)	川崎市生涯学習プラザ	日本の森林・林業の行方	A・B班実施	元岐阜県立森林文化アカデミー教授 原島幹典	
12	1/22(火)		縄文時代から使われ、japanと呼ばれる漆の実力と樹木としての魅力	A・B班実施	樹木医 石井誠治	

※本講座は、みどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講。※10/2(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※2,3回10/9,10/16は、バス借上げ代等で別途5,000円集金(バスの手配は、富士急トラベル)。

受講登録者数 95名 (男性 39名 女性 56名) 出席者総数 954名



前期

講座	みどり学 (フレッシュ)			
12	【定員】40名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分~15時00分、野外:10時30分~14時30分、 4/10は8時00分~18時00分予定 (計12回)			
概要	みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	4/10(火)	山梨県北杜市(神代桜)	日本一長寿のサクラと巨大ケヤキ田木・畑木 (バス利用)	樹木医 石井誠治
3	4/17(火)	川崎市生涯学習プラザ	神代ザクラと田木・畑木の過去、現在、未来	日本花の会主幹研究員 和田博幸
4	4/24(火)		ツツジを科学する~ツツジのルーツと多様な種類	森林インストラクター 武部 令
5	5/15(火)		荒れ狂う地球: 21世紀の課題	元東京女子大学教授 小島 寛
6	6/5(火)		世界のブナ・現状と未来	東京農工大学名誉教授 福嶋 司
7,8	6/12(火)	水元公園	最大の都立公園でハナショウブの競演を鑑賞	樹木医 石井誠治
9	6/19(火)	川崎市生涯学習プラザ	銀座ミツバチ物語: ミツバチから学ぶ地域の資源	NPO 銀座ミツバチプロジェクト 理事長 田中淳夫
10	6/26(火)		グランドキャニオンの地形とアリゾナ砂漠の植生	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
11,12	7/17(火)	四季の森公園	花の形には事情あり・横浜市四季の森を楽しむ	森林インストラクター 武部 令

※4/3(火)13時30分より1時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第1,2回4/10(火)は、バス借上げ代等で別途約5,000円集金(バスの手配は、富士急トラベル)。

受講登録者数 39名 (男性 13名 女性 26名) 出席者総数 407名

後期

講座	みどり学 (フレッシュ)			
12	【定員】40名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分~15時00分、野外:10時30分~14時30分、 10/23は8時00分~18時00分予定 (計12回)			
概要	みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(火)	川崎市生涯学習プラザ	植物の騙し合い・助け合い~動けない植物たちの戦いのドラマ	樹木・環境ネットワーク 中西 由美子
2	10/16(火)		高尾山で起こっていること~室町時代から続く樹木環境に迫る危機	樹木医 石井 誠治
3,4	10/23(火)	富士山	森林限界を染める紅葉と富士山の裾野に広がる樹海を楽しむ (バス利用)	森林インストラクター 武部 令
5	11/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	日光杉並木の現状と対策	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
6	11/20(火)		食べられたいの? 食べられたくないの? 植物たちの戦い方~植物の化学的戦略	森林インストラクター 武部 令
7,8	11/27(火)	武蔵丘陵森林公園	国営武蔵丘陵森林公園の雑木林とカエデ園の紅葉散策	茨城県自然博物館 鶴沢 美穂子
9	12/4(火)	川崎市生涯学習プラザ	身近なコケの生物学	元岐阜県立森林文化アカデミー教授 原島幹典
10	12/11(火)		日本人と森との関わり	
11,12	1/15(火)	御茶ノ水	新春 御茶ノ水界隈から神田明神、湯島天神、上野清水観音堂散策	樹木医 石井誠治

※10/9(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第3,4回10/23(火)は、バス借上げ代等で別途5,000円程集金(バスの手配は、富士急トラベル)。

受講登録者数 40名 (男性 13名 女性 27名) 出席者総数 392名

前期

講座	古典は新訳で召し上げ! 古典新訳で楽しむ世界文学 II			
13	【定員】72名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 文学 【時間】毎回 10時30分~12時00分 (計12回)			
概要	代表的な古典作品から、我が国ではあまり知られていないアフリカ文学の世界的なベストセラーまで、広大な分野に散策に出ませんか。もちろん世界文学としての日本文学もあります。実際に「新訳」をした講師たちが、ナビゲーターとして同行しますので、初めての方にも安心して参加できます。いままで読んで分らなかった、面白くなかったという人こそお勧めの講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	『赤と黒』(スタンダール): スタンダールの代表作。才知と美貌で激動の時代を駆けぬけた主人公ジュリアン・ソレルの誇り高き精神を、新たな解釈で生き生きと描き出す。	東京大学教授 野崎 敏
2	4/18(水)			
3	5/9(水)		『崩れゆく絆』(アチェベ): アフリカ文学の父が残した最高傑作を読み解く。世界で1千万部の大ベストセラー登場。	法政大学准教授 栗飯原 文子
4	5/16(水)		『虫めづる姫君——堤中納言物語』(作者未詳): 平安朝後期の物語文学の無類の面白さと意外性に富む11編。新しい試みを随所にちりばめた現代語訳を楽しむ。	詩人・作家 蜂飼 耳
5	5/30(水)		『海に住む少女』『ひとさらい』(シュベルグヴェル): あの渋澤龍彦も熱愛したウルグアイ出身のフランス人作家が残した珠玉の幻想小説。	フランス語翻訳家 永田千奈
6	6/6(水)		『鼻/外套/査察官』(ゴーゴリ): 従来、生真面目に翻訳されてきたゴーゴリだが、本来は奇想に満ちた作家だった。落語調で新訳された全く新しい作品像に触れる。	元東京大学教授 浦 雅春
7	6/13(水)			
8	6/20(水)			
9	6/27(水)		『マルテの手記』(リルケ): ヨーロッパ文化の中心地であるパリで、青年マルテが目にする繁栄と雑踏。都市で浮遊する彼の精神がとらえた不安げで不確定な世界を味わう。	早稲田大学教授 松永美穂
10	7/4(水)			
11	7/11(水)		『菊と刀』(ベネディクト): 恥、義理、恩、礼節——日本人が忘れてしまったものはなにか? 日本人の心理を考察し、その矛盾した行動を鋭く分析したロングセラーの画期的新訳。	防衛学校教授 角田安正
12	7/18(水)			

受講登録者数 61名 (男性 26名 女性 35名) 出席者総数 622名

後期

講座	石牟礼道子の文学世界			
14	【定員】72名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 文学 【時間】毎回 10時30分~12時00分 (計12回)			
概要	新日本窒素肥料株式会社水俣工場が、『ある種の有機水銀』を水俣湾にたれ流しつづけたために、豊饒な不知火の海は、死をもたらす海に変質させられた。『苦海浄土』をはじめとして、水俣病の患者たちの魂を描きつづけた石牟礼道子。二〇一八年二月一日の死を追悼しながら、石牟礼文学を読み直す。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(水)	川崎市生涯学習プラザ	石牟礼道子の文学世界への入口	東京大学教授 小森陽一
2	10/10(水)		『苦海浄土』を読む	
3	10/17(水)		石牟礼道子と近代日本	作家 赤坂真理
4	10/24(水)		『西南役伝説』を読む	
5	11/7(水)		『完本 春の城』を読む	
6	11/14(水)		『水はみどろの宮』の地球考	東京大学教授 小森陽一
7	11/21(水)		『樫の海の記』を精読する (一章~二章)	早稲田大学名誉教授 東郷克美
8	11/28(水)		『樫の海の記』を精読する (三章~四章)	
9	12/5(水)		『樫の海の記』を精読する (五章~六章)	
10	12/12(水)		『樫の海の記』を精読する (七章~八章)	
11	1/16(水)		『樫の海の記』を精読する (九章~十一章)	
12	1/30(水)		21世紀における石牟礼道子文学の可能性	東京大学教授 小森陽一

受講登録者数 63名 (男性 24名 女性 39名) 出席者総数 592名

前期

WS 4	「私」を生きる文学—「私小説」の魅力を探求する		* 講義の後に討論あり	
	【定員】30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 6,480円	聴講生 7,560円	
	【ワークショップ】文学		【時間】毎回 13時00分～15時00分 (計7回)	
概要	一般に、「私小説」は、作者と語り手と主人公が同じ人物であると考えられています。しかし、小説は言語によって表現された虚構なので、先の三者を無媒介に結びつけることは、原理的に出来る筈がありません。このワークショップでは、すでに一定の評価を得ている「私小説」を取り上げ、作者と語り手と主人公を区別しながら、小説の特徴・問題点・現代的意義について検討し、その魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	4/18(水)		葛西善哉「哀しき父」 —詩作と困窮生活のはざままで苦悩する主人公の生の行方を探る。	早稲田大学講師 伊藤 博
3	5/9(水)		谷崎潤一郎「異端者の悲しみ」 —谷崎の唯一の自伝的小説に描かれた異端の意味について考える。	
4	5/30(水)		佐多稲子「キャラメル工場から」 —小学校をやめて女工として働く少女。彼女の生きる意味とは。	
5	6/13(水)		梅崎春生「桜島」 —戦争末期、桜島に赴任を命じられた「私」の極限状況を読み解く。	
6	6/27(水)		太宰治「トカトントン」 —トカトントンという物音の戦後状況批判としての有効性を問う。	
7	7/11(水)		瀬戸内晴美(寂聴)「夏の終り」 —主人公「知子」と妻子ある小説家と年下の男性。彼らの愛と性を読む。	

受講登録者数 30名 (男性 19名 女性 11名) 延べ人数 179名

後期

WS 4	家族小説を読む—交錯する日常と非日常		* 講義の後に討論あり	
	【定員】30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 6,480円	聴講生 7,560円	
	【ワークショップ】文学		【時間】毎回 13時00分～15時00分 (計7回)	
概要	人は、家族の一員として生まれ、育ち、生活し、その後、新たな家庭を築くことがあります。その間、私たちは様々な問題に直面することで、悩み、悲しみ、怒り、喜びながら生きていきます。日本の現代文学は家族、家庭をどのように描いているのでしょうか。家族小説を読み解くことは、私たちが生きてきた足跡、そして、私たちの今後について考えることには必ずです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	10/17(水)		「プールサイド小景」 庄野 潤三 —平凡なサラリーマン家庭の日常に入った亀裂とは。	早稲田大学講師 伊藤 博
3	10/24(水)		「檜山節考」 深沢 七郎 —「人生永遠の書」と評された小説に描かれた生と死を読み解く。	
4	11/7(水)		「海辺の光景」(1) 安岡 章太郎 —戦後を生きる核家族が直面した切実な問題について考える。	
5	11/28(水)		「海辺の光景」(2) 安岡 章太郎 —母の死に直面した主人公の立場と心情を探求する。	
6	12/12(水)		「笛」 野上 弥生子 —世代間格差の家庭の中で苦悩する母の最期は自覚的だったのか。	
7	1/16(水)		「忌中」 車谷 長吉 —妻の介護疲労と経済的破綻が夫に決断させた行動の是非を問う。	

受講登録者数 25名 (男性 15名 女性 10名) 延べ人数 137名

前期

講座 14	世界を旅する①9イラン・ツアー			
	【定員】72名	【受講料】 2年会員 8,640円	1年会員 9,720円	聴講生 12,960円
	エクセレントI		【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)	
概要	イランは、人口8000万を擁する中東の大国です。古代ペルシアからイスラム共和国まで、数千年の歴史が育んだ宗教と文化は、人類の歴史に大きな影響を与えてきました。本講座では、イランの様々な姿を、歴史、文学、宗教、建築、政治、経済、社会、国際関係をとらえて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	国定教科書にみるイラン・イスラム革命	早稲田大学教授 桜井啓子
2	4/18(水)		ペルシア語と詩の1000年：詠む情熱、語る情熱、聴く情熱	東京大学非常勤講師 前田君江
3	4/25(水)		イラン商人の世界：バーザールと商売の極意	日本貿易振興機構・アジア経済研究所 主任研究員 岩崎葉子
4	5/9(水)		「イラン」成立にいたる道のり：近世における国家形成と社会・文化	お茶の水女子大学 助教 阿部尚史
5	5/16(水)		現代イランにおける諸宗教の共生	駒澤大学仏教経済研究所・客員研究員 Bahman Zakipour
6	6/6(水)		イラン女性と100年：イラン版「連続テレビ小説」のヒロインたち	横浜市立大学准教授 山崎和美
7	6/13(水)		大国に翻弄されたイラン近現代史 ：石油を巡る争いとナショナリズム運動	国際問題研究所研究員 貴井万里
8	6/20(水)		イランにおける聖廟めぐり：同国のシーア派信仰と社会	早稲田大学イスラム地域研究機構 研究助手 杉山隆一
9	6/27(水)		イランのイスラム共和国体制：政治の仕組みと社会政策	日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 研究主幹 坂梨 祥
10	7/4(水)		対立する中東の大国：イランとサウジアラビア	早稲田大学教授 桜井啓子
11	7/11(水)		イランの伝統的な街と建物	日本学術振興会カイロ研究連絡センター長 深見 奈緒子
12	7/18(水)		(知られざる?) お坊さんたちの世界	東京大学准教授 森本一夫

受講登録者数 71名 (男性 42名 女性 29名) 出席者総数 715名

後期

講座 15	世界を旅する②0タイ・ツアー			
	【定員】72名	【受講料】 2年会員 8,640円	1年会員 9,720円	聴講生 12,960円
	エクセレントI		【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)	
概要	タイは、東南アジア諸国のなかでも最もよく日本人に知られた国です。一方、煌びやかな仏教寺院や人々の微笑みの背後でタイという国が見せる多様な「顔」を知る人は多くありません。本講座では、歴史、民族、政治、経済、国際関係、宗教、食、文学、映像などについての深い理解を通じたタイ像の再構築を試みます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	タイを知るための視角：国民・仏教・王制の行方	首都大学東京教授 綾部真雄
2	10/10(水)		タイの歴史①：タイの領域の確定まで	横浜市立大学教授 柿崎一郎
3	10/17(水)		タイの歴史②：国民国家の形成	首都大学東京教授 綾部真雄
4	10/24(水)		エスニック・タイ：民族の視点からタイを読み解く	
5	11/7(水)		タイ語・タイ文学の世界	東京外国語大学名誉教授 宇戸清治
6	11/14(水)		タイ政治の表と裏	法政大学教授 浅見靖仁
7	11/21(水)		現代国際関係のなかのタイ：政治・経済の視点から	ジェトロ・アジア経済研究所研究員 青木まき
8	11/28(水)		なぜ2014年に再びクーデタが起こったのか —タクシン元首相のポピュリズムとタイ民主化	京都大学東南アジア地域研究研究所 連携講師 外山文子
9	12/5(水)		食から考えるタイ①—アジアの食を俯瞰して	フォトジャーナリスト・大正大学客員教授 森枝卓士
10	12/12(水)		食から考えるタイ②—美味佳味珍味魔味	
11	1/16(水)		映画で旅するタイ	映像作家・慶應義塾大学講師 金子 遊
12	1/30(水)		タイ人の思考—カルチャーギャップと受け止め方	NHK文化センター タイ語講師 中島 マリン

受講登録者数 62名 (男性 40名 女性 22名) 出席者総数 627名

前期

講座 15	地中海世界の都市と建築—陣内研究室のフィールド調査より			
	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
建築と都市		【時間】毎回10時30分～12時00分 但し5回～7回のみ土曜日13時30分～15時00分(計12回)		
概要	地中海世界には、古代から都市文明が発達し、各地に独特の生活空間と固有の文化を生んできました。法政大学陣内研究室では、30年近く、イタリアを中心に地中海世界の都市や集落調査を続けてきました。住民の生活の在り方を知るために、貴族から庶民まで多くの住宅を訪ね、実測と聞き取りを行います。本講では、こうしたフィールド調査の面白さを紹介しながら、都市と建築の魅力を解き明かします。			講師名(敬称略)
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/25(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ヴェネツィア 中世の迷宮都市	法政大学特任教授 陣内秀信
2	5/9(水)		ヴェネツィア ルネサンス・バロックの都市文化	
3	5/16(水)		ヴェネツィア地方の都市と地域	
4	6/6(水)		トスカーナ地方の都市と田園	
5	6/16(土)		プーリア地方の都市と田園	法政大学工口地域デザイン研究センター 特別研究員 稲益祐太
6	6/23(土)		アマルフィ海岸	愛知産業大学教授 新井勇治
7	6/30(土)		東方イスラム都市：ビザンティンからイスラムへ ダマスカス・エルサレム・イスタンブール	
8	7/4(水)		シチリアの都市	法政大学特任教授 陣内秀信
9	7/11(水)		サルデーニャの生活空間	
10	7/18(水)		トルコの都市と建築	
11	8/1(水)		アンダルシアの都市と建築	
12	8/8(水)		西方イスラム都市：中世のイスラム迷宮都市 フェズ・マラケシュ・チュニス・カイロワーン	愛知産業大学教授 新井勇治

受講登録者数 72名 (男性 26名 女性 46名) 出席者総数 707名

後期

講座 16	明治の都市と建築			
	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
建築と都市		【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	日本の建築は、幕末～明治の洋風建築導入により大きく変貌し、その影響は和風建築にも及びました。明治はまた、大正期に本格化する近代建築運動の助走期間に当たり、新たな人材や思想、技術が育まれました。明治150年の年に、「明治の都市と建築」の実像を最新の研究成果から多角的に論じます。			講師名(敬称略)
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	近代の幕開けと外交施設	東海大学教授 小沢朝江
2	10/10(水)		横浜居留地の近代遺跡と都市の記憶としての保存	株式会社ユー・エス・シー 代表取締役 関東学院大学建築環境学部講師 兼弘 彰
3	10/24(水)		明治・大正期の住まいの近代化	神奈川大学建築学科特別助教 須崎文代
4	10/31(水)		住まいの水まわり空間の変革	関東学院大学教授 水沼淑子
5	11/7(水)		明治期大磯の別荘建築	小山工業高等専門学校 名誉教授 河東義之
6	11/14(水)		ジョサイア・コンドルの功績	
7	11/21(水)		三菱一号館と丸の内赤煉瓦街	東海大学教授 小沢朝江
8	11/28(水)		皇居の近代史—江戸城から明治宮殿へ	
9	12/5(水)		迎賓館赤坂離宮—東宮の住まいの意匠と平面	日本工業大学名誉教授 波多野純建築設計室代表 波多野 純
10	12/12(水)		近代和風建築を作った建築家・職人—埼玉県を中心に	
11	1/16(水)		宮廷建築家木子家の活動と木子七郎	一般財団法人住総研特別研究員 武知亜耶
12	1/30(水)		建築家の姿勢にみる商都大阪と帝都東京	

受講登録者数 52名 (男性 28名 女性 24名) 出席者総数 530名

前期

講座 16	かわさき市域の歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう ⑤			
	【定員】50名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
学び・歩くかわさき(川崎学)		【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分、 ただし5/9は10時30分～15時00分予定(計12回)		
概要	多摩川下流域右岸に沿って形成されている川崎市域は、自然科学・人文科学的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。前期は、古代～近代・現代で、城址・古代遺跡・インフラ(橋・鉄道史)長屋門・宿場等について学びます。			講師名(敬称略)
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	登戸から枳形山を歩く	戦国史研究会会員 中西望介
2	4/18(水)	野外学習		
3	4/25(水)	川崎市生涯学習プラザ	東京の橋と浅野造船所	産業考古学会会長 伊東 孝
4,5	5/9(水)	野外学習	東京下町の橋めぐり・まちめぐり	
6	6/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	県史跡・東高根遺跡と周辺	川崎市市民ミュージアム主任学芸員 小栗一夫
7	6/13(水)	野外学習		
8	6/20(水)	川崎市生涯学習プラザ	国鉄貨物線と南武線・品鶴線の変遷	法政大学文学部兼任講師・ 産業考古学会理事 中川 洋
9	6/27(水)	野外学習	新川崎駅・操車場後から川崎河岸駅後まで	
10	7/4(水)		幸区の日吉地区を歩く —市文化財登録：深瀬家の長屋門をめざして	日吉郷土史会 近藤政次 地域史研究家 関崎益男
11	7/11(水)		川崎中部地域を巡る—能満寺から野川	大山街道ふるさと館副館長 對馬醇一
12	7/18(水)	川崎宿に続く神奈川宿を行く—鶴見～生麦		

※5/9(水)は、釣り船を貸し切りで乗船するため別途5,000円程度集金した。※4/11(水)講座開始前13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者数 50名 (男性 35名 女性 15名) 出席者総数 494名

後期

講座 17	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう ⑥			
	【定員】50名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
学び・歩くかわさき(川崎学)		【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分、 ただし10/10は8時～18時予定。(計12回)		
概要	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然科学・人文科学的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。後期は、時代的には古代～近現代で、見学対象分野は古墳、寺社、インフラ、交通施設などについて学びます。			講師名(敬称略)
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(水)	川崎市生涯学習プラザ	武蔵国造の乱について—上毛野君氏との係わりから—	館林市史編さん専門委員 上野三碑世界記憶遺産登録 推進協議会委員 前澤和之
2,3	10/10(水)	野外学習	国宝金錯銘鉄剣と北武蔵の首長墓を巡る。(バス利用)	日本考古学会会員 寺田良喜
4	10/17(水)		南武蔵の首長墓を巡る	
5	10/24(水)	川崎市生涯学習プラザ	地名を中心とした土橋村を巡る①	川崎市教育委員会地名資料室職員 栃木久男
6	10/31(水)	野外学習	地名を中心とした土橋村を巡る②	
7	11/7(水)	川崎市総合自治会館	煉瓦がむすぶ川崎・横浜	横浜都市発展記念館 副館長・ 主任調査研究員 青木祐介
8	11/14(水)	野外学習	「横浜の近代遺跡をめぐる」 象の鼻パーク～元町公園(ジェラルム水屋敷貯水槽)	日本 ICOMOS「技術遺産小委員会」主査 産業考古学会理事 伊東 孝
9	11/21(水)	川崎市生涯学習プラザ	四谷見附橋と赤坂離宮(現迎賓館)、 そして甲武鉄道(現中央線)	
10	11/28(水)	野外学習	四谷見附界隈(四谷見附橋、新旧御所隧道、赤坂離宮 など)～市ヶ谷見附	法政大学文学部兼任講師 産業考古学会理事 中川 洋
11	12/5(水)	川崎市生涯学習プラザ	消えた川崎市電と市営トロリーバス—臨海部交通網の変遷	
12	12/12(水)	野外学習	八丁駅～浜川崎駅～桜堀運河・桜川公園(保存車両) ～市電通り～川崎駅	

※10/10(水)は、バス借り上げ代等で別途5,000円程集金(バスの手配は富士急トラベル)。※10/3(水)講座開始前13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者数 50名 (男性 38名 女性 12名) 出席者総数 513名

前期

WS 5		街角の文化遺産に学ぶ—お大師信仰と双盤念仏を聞く		※座学と野外学習	
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに 7,560円 聴講生 8,640円			
【ワークショップ】まち歩き(川崎学)		【時間】毎回 座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(ただし、5/21は別途)(計7回)			
概要 川崎の名刹 川崎大師・平間寺に視点をあてて、地域に果たしてきた役割や信仰圏などから考えてみます。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/25(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎大師 平間寺について	元日本民家園園長 三輪修三	
2	5/16(水)	現地	お大師双盤講 双盤引声念仏について	筑波学院大学客員教授 坂本 要	
3	5/21(月)		平間寺の念仏堂での「双盤引声念仏」を聞く		
4	6/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	弘法大師信仰の諸相	日本民俗学会員 高橋典子	
5	6/20(水)	現地	川崎大師周辺を歩く—庶民信仰の史跡を訪ねて		
6	6/27(水)		平間寺と明長寺、大師稲荷神社と若宮神社	日本地名研究所 菊地恒雄	
7	7/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	明治初期の地図や周辺村絵図から大師地区の小字地名を考える		

※4/25(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。  
受講登録者数 28名 (男性 11名 女性 17名) 出席者総数 178名

後期

WS 5		街角の文化遺産に学ぶ—川崎に条里制はあったのか		※座学と野外学習	
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに 7,560円 聴講生 8,640円			
【ワークショップ】まち歩き(川崎学)		【時間】毎回 座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
概要 市の坪(一の坪)は条里制の遺称地名と言われている。神奈川県内の条里制遺構などを訪ね、律令制度の中でのくらしや地割りを知る。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/17(水)	川崎市生涯学習プラザ	古代・橘樹郡衙と条里遺構	日本考古学協会会員 村田文夫	
2	10/24(水)	現地	条里制遺構を探す(机上作図作業)	日本地名研究所研究員 菊地恒雄	
3	10/31(水)		久本地区を歩いて実測		
4	11/14(水)		市ノ坪・上丸子を歩いて地割りと比較		
5	11/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	神奈川の古代の道と条里制遺構	神奈川県考古学会会長 岡本孝之	
6	12/12(水)	現地	相模国分寺と海老名条里地帯	藤沢市役所 郷土歴史課 荒井秀規	
7	1/16(水)	川崎市生涯学習プラザ	古代の民の実生活	日本地名研究所所長 関 和彦	

※10/17(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。  
受講登録者数 24名 (男性 11名 女性 13名) 出席者総数 141名

前期

講座 17		明治から150年—日本における政治論の系譜			
【定員】72名		【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
政治・社会		【時間】毎回 13時00分～14時30分(計12回)			
概要 日本が幕藩体制の転覆を経て近代国家として出発してから150年になる。そのちょうど真ん中の時期には、戦争、敗戦と占領にともなう大変動があった。この間、日本人は(政治)をどのようにとらえ、そこに何を託してきたのだろうか。この問題を、時代を象徴する課題、時代を代表する知識人の言説を解き明かすことを通じて考えてみたい。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	「維新」—150年前、いかなる革命だったのか?	東京大学特任講師 島田英明	
2	4/18(水)		「独立」—福沢諭吉の政治思想		
3	4/25(水)		「自由」—中江兆民の政治思想		
4	5/9(水)		「国家」—象徴・戦争・ナショナリズム		
5	5/16(水)		「社会」—吉野作造と政党政治		
6	6/6(水)		「文化」—南原繁における政治と文化		
7	6/13(水)		丸山眞男(Ⅰ) - 戦中から戦後へ -	信州大学教授 都築 勉	
8	6/20(水)		丸山眞男(Ⅱ) - 思想と行動におけるリベラル -		
9	6/27(水)		清水幾太郎 - 社会・人間・政治 -		
10	7/4(水)		竹内好 - 中国と日本の近代 -		
11	7/11(水)		鶴見俊輔 - 両義的なアメリカ -		
12	7/18(水)		吉本隆明 - 新左翼と大衆 -		

受講登録者数 84名 (男性 58名 女性 26名) 出席者総数 843名

後期

講座 18		君主制の比較政治論(日本の天皇制を含む)			
【定員】72名		【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
政治・社会		【時間】毎回 13時00分～14時30分(計12回)			
概要 現代世界においては、まだまだ多くの「王様」が存在します。デモクラシーの時代を迎えた現代において、いったんは過去のものと思えた君主制がなぜ存続しているのでしょうか。それどころか、これらの君主たちは、私たちが想像する以上に、大きな役割をはたしているのかもしれない。世界各国の君主制の歴史と現在を学ぶと同時に、比較の視座において日本の天皇制についても考えてみたいと思います。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	今、君主制を考える	東京大学教授 宇野重規	
2	10/3(水)		中東の君主制	東京大学准教授 池内 恵	
3	10/24(水)		オランダの君主制	千葉大学教授 水島治郎	
4	10/31(水)		イギリス立憲君主制の現在	関東学院大学教授 君塚直隆	
5	11/14(水)		英連邦と君主制	東京大学准教授 小川浩之	
6	11/21(水)		スペインの君主制	日本大学准教授 細田晴子	
7	12/5(水)		日本の天皇制(詳細未定)	放送大学教授 原 武史	
8	12/12(水)		天皇制1: 玄界灘の向こうから	東京大学教授 石川健治	
9	12/19(水)		天皇制2: 平成につながる余波		
10	1/16(水)		巷に溢れる王様の肖像: タイの「お父さま」が果たす役割	京都大学特任研究員 櫻田智恵	
11	1/30(水)		君主制でなくなった国 フランス	東京大学教授 宇野重規	
12	2/13(水)		君主制の比較政治論	千葉大学教授 水島治郎	

受講登録者数 104名 (男性 71名 女性 33名) 出席者総数 1,015名

前期

WS 6	丸山眞男を読む			
	【定員】 30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 10,800円 聴講生 11,880円		
【ワークショップ】 政治・社会		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計10回)		
概要	丸山眞男は、狭義の研究分野としては、日本政治思想史を専門にしておられ、この分野での彼の著作は、日本の政治学の歴史における記念碑的業績となった。それと同時に、彼は同時代の政治について、さらには政治の本質について多くの文章を遺しており、それらは時代状況に向かい合う巨大な知性の記録である。この二つの領域のそれぞれ代表的な著作を精読することによって、そこに通底するものを探り、現在への問いかけを導き出す。言い換えれば、丸山の著作を「古典」として読むということである。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/18(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス ：授業の進め方、丸山眞男と思想史学について、「忠誠と反逆」について	東京大学特任講師 島田英明
2	4/25(水)		「忠誠と反逆」を読む(1)	
3	5/9(水)		「忠誠と反逆」を読む(2)	
4	5/16(水)		「忠誠と反逆」を読む(3)	
5	6/6(水)		「忠誠と反逆」を読む(4)	
6	6/13(水)		『政治の世界他十編』I 「政治と政治学」の「科学としての政治学」と「人間と政治」	信州大学教授 都築 勉
7	6/20(水)		同上Iの「政治の世界」	
8	6/27(水)		同上II「権力の政治学」	
9	7/4(水)		同上III「政治学入門」	
10	7/11(水)		同上IV「市民のための政治学」	

テキストは丸山眞男『忠誠と反逆——転形期日本の精神的位相』(ちくま学芸文庫、1998年)、定価(本体1400円+税)。丸山眞男著、松本礼二編注『政治の世界他十編』(岩波文庫、2014)、定価(本体1140円+税)各自で用意。進め方は報告とディスカッション。  
受講登録者数 23名 (男性 19名 女性 4名) 出席者総数 204名

後期

WS 6	マックス・ウェーバーを読む			
	【定員】 30名	【受講料】 2年・1年会員ともに 10,800円 聴講生 11,880円		
【ワークショップ】 政治・社会		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計10回)		
概要	「職業としての学問」、「職業としての政治」の邦題で読み継がれてきたマックス・ウェーバーの2つの講演を新訳で読みます。第一次世界大戦末期にドイツで論じられた講演から、今日にも通じる学問・政治の問題を訳者と一緒読み解いていきます。また同時代の識者との交流を追いながら、マックス・ウェーバーの人と思想に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション：マックス・ウェーバーとその時代	成蹊大学教授 野口雅弘
2	10/3(水)		「学問」1回目 大学に勤めるということ：アメリカの大学とドイツの大学の比較	
3	10/17(水)		「学問」2回目 わたしたちの時代、あるいは「魔法が解ける」Entzauberungということ	
4	10/24(水)		「学問」3回目 「中立性」の問題：学問にできること	
5	11/7(水)		「政治」1回目 政治の定義と「レジティマシー(正統性)」	
6	11/14(水)		「政治」2回目 近代国家と官僚制	東京大学教授 石川健治
7	11/21(水)		「政治」3回目 政党政治とリーダーシップ：英・米・独の比較	
8	12/5(水)		「政治」4回目 信条倫理と責任倫理、および戦争責任について	
9	12/12(水)		ハイデルベルクの知識社会とマックス・ウェーバー(1)	
10	12/19(水)		ハイデルベルクの知識社会とマックス・ウェーバー(2)	

※1～8回テキストはマックス・ウェーバー著／野口雅弘訳『仕事としての学問 仕事としての政治』(講談社学術文庫、2018年7月12日刊行、定価880円+税)は、各自で用意。9、10回テキストのマリアンネ・ウェーバー著『マックス・ウェーバー』[抜粋]等の資料はWSで配布。進め方は報告とディスカッション。  
受講登録者数 36名 (男性 25名 女性 11名) 出席者総数 300名

前期

講座 18	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part24				
	【定員】 150名	【受講料】 2年会員 12,960円 1年会員 14,040円 聴講生 17,280円			
音楽Ⅲ		【時間】 14時20分～16時00分 (計11回)			
概要	川崎市フランチャイズオーケストラである東京交響楽団のメンバーによる音楽講座です。各楽団員や音楽家が自ら企画したプログラム(ソロや、アンサンブル)をお話しを交えて演奏しますので、オーケストラを身近に感じることが出来ます。また普段公開していないオーケストラのリハーサル見学会を2回、それを聴くためのレクチャーを1回設けておりますので、コンサートの曲目についても、より深く理解できることと見込。東京交響楽団の楽団員と共に、音楽を楽しみましょう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/4(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器① ピアノ	仲道 祐子(ピアノ)	
2	4/18(水)		オーケストラの楽器② トロンボーン	大場直人(東京交響楽団首席トロンボーン奏者)、今込 治(トロンボーン)、三浦葉月(トロンボーン)、大塚 蘭(バストロンボーン)	
3	4/20(金)	ミュージアム シンフォニー ホール	公開リハーサル②音楽監督ジョナサン・ノット ロシア：「絹のはしご」序曲、 シューベルト：交響曲第6番ほか	指揮：ジョナサン・ノット 管弦楽：東京交響楽団	
4	5/9(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器③ ハープ	景山 梨乃(東京交響楽団首席ハープ奏者)	
5	5/16(水)		オーケストラの楽器④ トランペット	佐藤友紀(東京交響楽団首席トランペット奏者)、大野 真由子(ピアノ)	
6	5/30(水)		オーケストラの楽器⑤ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ「弦楽五重奏」	福留史純(東京交響楽団第二ヴァイオリンファースト奏者)、竹田詩織(東京交響楽団ヴァイオリン)、多井干洋(東京交響楽団ヴァイオリン)、大角 彩(東京交響楽団ヴァイオリン)、蜷江慶行(東京交響楽団チェロ)	
7	6/6(水)		オーケストラの楽器⑥ オルガン	新山恵理(オルガン)	
8	6/13(水)		公開リハーサルに向けて	音楽ジャーナリスト・評論家 萩谷 由喜子	
9	6/21(木)		ミュージアム シンフォニー ホール	公開リハーサル②桂冠指揮者秋山和慶 クララ・シューマン：行進曲、 シューマン：交響曲「ツヴィッカウ」(未完成交響曲)ほか	指揮：秋山和慶 管弦楽：東京交響楽団
10	7/4(水)		ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑦ クラリネット	エマニュエル・ヌボ(東京交響楽団首席クラリネット奏者)、 郡 尚恵(クラリネット)、佐藤友美(ピアノ)
11	7/18(水)		ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑧ ヴィオラとピアノの《タンゴ》	鈴木 まり奈(東京交響楽団ヴァイオリン)、青木 菜穂子(ピアノ)

受講登録者数 156名 (男性 70名 女性 86名) 延べ人数 1,288名

後期

講座 19	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part25			
	【定員】 150名	【受講料】 2年会員 12,960円 1年会員 14,040円 聴講生 17,280円		
音楽Ⅲ		【時間】 14時20分～16時00分 (計11回)		
概要	川崎市フランチャイズオーケストラである東京交響楽団による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラム(ソロ演奏や、アンサンブル演奏など)をお話しを交えて演奏します。また普段公開していないオーケストラのリハーサル見学会を2回、それを聴くためのレクチャーを1回設けておりますので、コンサートの内容がより深く理解できることと見込。ミュージアム市民交流室では客席からしか見ることが出来ない演奏家たちの演奏を間近で聴いてみませんか。楽団員と共に、音楽を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(水)	ミュージアム 市民交流室	公開リハーサルに向けて 「名曲全集第141回」聴きどころ	音楽ライター・編集者 榊原 律子
2	10/19(金)	ミュージアム シンフォニー ホール	公開リハーサル①ワーグナー：ヴェーゼンドク歌曲集 ベルリオーズ：幻想交響曲 作品14	指揮：ダン・エッティンガー、メソ・ソプラノ：エドナ・プロホニク 管弦楽：東京交響楽団
3	10/24(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器① チェロ	川井 真由美(東京交響楽団チェロ・ファースト奏者)、 前田 美恵子(ピアノ)
4	11/14(水)		オーケストラの楽器② ヴァイオリンとコントラバス	土屋 杏子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)、 安田 修平(東京交響楽団コントラバス奏者)
5	11/28(水)		オーケストラの楽器③ ヴィオラ	武生 直子(東京交響楽団首席ヴィオラ奏者) 原 博美(ピアノ)
6	12/13(木)	ミュージアム シンフォニー ホール	公開リハーサル② リヒャルト・シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」	指揮：ジョナサン・ノット 管弦楽：東京交響楽団
7	1/23(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器④ オーボエ	荒木 奏美(東京交響楽団首席オーボエ奏者) 宇根 美沙恵(ピアノ)
8	1/30(水)		オーケストラの楽器⑤ クラリネット&ファゴット	近藤千花子(東京交響楽団クラリネット奏者)、須東裕基(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団クラリネット奏者)、皆神陽太(ばんだウインドオーケストラ首席ファゴット奏者)、星野英子(ピアノ)
9	2/13(水)		オーケストラの楽器⑥ ホルンだけど「西洋の角笛 日本」の龍笛についてのお話	大野 雄太(東京交響楽団ホルン首席奏者)、 岩崎 達也(龍笛)、石井 理恵(ピアノ)
10	2/20(水)		オーケストラの楽器⑦ フルート	甲藤 さち(東京交響楽団フルート首席奏者) 與口 理恵(ピアノ)
11	2/27(水)		オーケストラの楽器⑧ ヴァイオリンとヴィオラ	水谷 晃(東京交響楽団コンサートマスターヴァイオリン) T A I R I K U (ヴァイオリン&ヴィオラ)

受講登録者数 155名 (男性 64名 女性 91名) 延べ人数 1,383名

前期

WS 7	油絵を描く—技法を基本から学ぶ		※実技が中心。第1回前半のみ講義	
	【定員】25名	【受講料】会員・聴講生ともに 18,360円		
【ワークショップ】芸術		【時間】毎回18時00分～20時30分(計10回)		
概要	初心者から経験者も含めて、絵具や溶き油など絵画材料について説明し、一回ごとの描画プロセスを経て書き込んでいく絵画教室です。みずからの感性を生かしながら、楽しく描きつづける自分を発見できるでしょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物 b※絵画材料と用具の説明。木炭素描から始まる描画プロセス(パワーポイント使用) 1 制作の開始 キャンバスに木炭素描と定着。構図を決定 2 イエローオーカーなどの土性絵具による下層描き。単色での明暗の観察 3 有彩色絵具による彩色。積極的に絵具を塗りながら調和を求める	NHK文化センター講師 佐藤道子
2	4/18(水)			
3	4/25(水)			
4	5/9(水)		人物A 1 木炭による下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による陰影。単色で明暗の観察 2 明部を白色絵具と有彩色絵具を厚塗りし、立体感や空間間を出す 3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、色彩の観察と調和を試みる	
5	5/16(水)			
6	5/23(水)			
7	6/6(水)		人物B 1 木炭による下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による陰影。単色で明暗の観察 2 明部を白色絵具+有彩色絵具を厚塗りし、立体感や空間間を出す 3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、色彩の観察と調和を試みる	
8	6/13(水)			
9	6/20(水)			
10	7/4(水)		講評会 自作品について受講生のスピーチと講師の講評	

受講登録者数 24名 (男性 14名 女性 10名) 出席者総数 202名

後期

WS 7	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ		※実技が中心。第1回前半のみ講義		
	【定員】25名	【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 18,360円			
【ワークショップ】芸術		【時間】毎回18時00分～20時30分(計10回)			
概要	水彩画は「描くこと」の親しみやすい入口です。制作を通して水彩画の基本的な技法と造形的なものを見方を理解し、自らのみずみずしい感性の発見と創造の楽しさを知ります。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物A 講義および制作 1 鉛筆による下素描。絵具によるキアロスコーロ(単色の明暗対比表現) 2 固有色の観察。色調の調和と対比	NHK文化センター講師 佐藤道子	
2	10/17(水)				
3	11/7(水)		静物B 1 鉛筆による下素描。絵具によるキアロスコーロ。空間の表現 2 固有色の観察。色調の調和と対比	愛知県立芸術大学非常勤講師 千村曜子	
4	11/14(水)				
5	11/21(水)		人物A 1 鉛筆による下素描(人体の比例 動き 量感) 絵具によるキアロスコーロ(単色で大まかな明暗を施す) 2 色調の観察。感じたものを表す	NHK文化センター講師 佐藤道子	
6	12/5(水)				
7	12/12(水)		人物B 水彩による速描。筆のタッチで人物の動きやボリュームをとらえる		
8	1/16(水)				
9	1/23(水)		人物C 1 鉛筆または絵具による下素描。キアロスコーロ 2 色彩と筆致を生かす。思いきった大きな表現を試みる		
10	1/30(水)				
講評会			これまで描いた作品についての受講生のスピーチと講師の講評		

受講登録者数 26名 (男性 13名 女性 13名) 出席者総数 211名

前期

講座 19	持続可能な社会と環境・みどり・防災			
	【定員】72名	【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円		
環境とみどり		【時間】毎回10時15分～12時00分(計12回) 第7回(6/7)は午前午後の野外学習。		
概要	地球温暖化がますます進行する中、大災害も頻発しています。私たちはどのようにして各種環境問題や自然災害を克服して住みよい社会を創り出していけば良いのか。この講座では持続可能な社会の創出に向けて、みどりの課題を中心に、環境学や防災学に関する最新の知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/19(木)		木造建築の新たな展開	木材・合板博物館長 安藤直人
3	4/26(木)		巨大地震と新たな南海トラフ地震への対策	東京大学地震研究所教授・地震予知研究センター長 平田直
4	5/10(木)		森林環境税と水源税	東京大学大学院教授 蔵治 光一郎
5	5/17(木)		『森林飽和』を読む	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	5/24(木)		SDGsとは何か	慶應義塾大学大学院教授 蟹江憲史
7	6/7(木)	野外学習	★秩父方面の地層と荒川の歴史を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦
8	6/14(木)	川崎市生涯学習プラザ	動植物に影響を与える気象や気候の変化	気象研究所 環境応用気象研究部 川瀬宏明
9	6/21(木)		鳥を楽しむ、自然と生きる	慶應義塾大学大学院教授 樋口広芳
10	7/5(木)		再生可能エネルギーへの転換	環境エネルギー政策研究所 松原弘直
11	7/12(木)		災害に強い森づくり	東京大学名誉教授 太田猛彦
12	7/19(木)		前期講義の取りまとめ	

★は野外学習です。※第7回(6/7)は講座とワークショップの合同講座です。バス利用で費用を別途5,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。受講登録者数 72名 (男性 49名 女性 23名) 出席者総数 758名

後期

講座 20	持続可能な社会における環境・みどり・防災			
	【定員】72名	【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円		
環境とみどり		【時間】毎回10時15分～12時00分(計12回) 第6回(11/15)は午前午後の野外学習。		
概要	近年、地球温暖化がますます進行する中、大災害も頻発しています。私たちはどのようにして各種環境問題や自然災害を克服して住みよい社会を創り出していけば良いのか。この講座では持続可能な社会の創出に向けて、みどり(自然)の課題を中心に、環境学や防災学に関する最新の知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介・トピック	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/11(木)		グローバルGAPについて	GAP普及推進機構理事長 横田敏恭
3	10/18(木)		土砂災害とその対策	砂防・地すべり技術センター研究顧問 池谷 浩
4	10/25(木)		持続可能なバイオエネルギー利用に向けて	自然エネルギー財団上級研究員 相川高信
5	11/8(木)		森林環境税と市町村の役割	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	11/15(木)	★(合同講座)北口本宮富士浅間神社と青木ヶ原樹海の自然体験		
7	11/22(木)	川崎市生涯学習プラザ	木からお酒を造る方法	森林総合研究所研究ディレクター 眞柄謙吾
8	11/29(木)		印旛沼流域の水循環健全化を通じた超学際的取り組みと地域創り	千葉大学教授 近藤昭彦
9	12/6(木)		醸造学の基礎	東京大学特任准教授 丸山潤一
10	12/13(木)		FSC森林認証制度—私たちが森を守る	東京大学名誉教授 太田猛彦
11	1/17(木)		水循環基本法について	東京大学教授 蔵治 光一郎
12	1/24(木)		1年間のとりまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

★は野外学習です。※第6回(11/15)は講座とワークショップの合同講座です。バス利用で費用を別途5,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集めます。

受講登録者数 66名 (男性 43名 女性 23名) 出席者総数 672名

前期

WS 8		身近な環境とみどりの探求		※発表あり	
【定員】50名		【受講料】2年・1年会員ともに8,640円		聴講生9,720円	
【ワークショップ】環境とみどり 【時間】毎回13時15分～15時15分(計12回)ただし、第1回・第12回および野外学習は16時頃終了となることがあります。第7回(6/7)と第9,10回(6/28)は午前中スタートとなります。					
概要 環境とみどりの講座で学んだことをさらに探求するため、身近な環境・みどり(自然)・防災(災害)について、実際にかかわっている方々のお話を聞いたり、現地を見学したりするワークショップです。もちろんワークショップのみの受講も歓迎です。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦	
2	4/19(木)		ホテル点滅の不思議	大場虫研究所・全国ホテル研究会 名誉会長 大場信義	
3	4/26(木)	横浜市緑区	★春の里山に咲く植物を訪ねる—微地形の違いと植物	多摩丘陵舎代表 北川淑子	
4	5/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	農業全般と森林保護—病気、害虫、獣害対策	石原産業株式会社 バイオサイエンス 営業本部 乾 公正	
5	5/17(木)	多摩区	★多摩川中流の野鳥と自然観察	日本野鳥の会神奈川支部支部長 鈴木茂也	
6	5/24(木)	川崎市生涯学習プラザ	異常気象と気象情報—巨大台風、線状降水帯、ゲリラ豪雨と防災	気象キャスターネットワーク 岩谷忠幸	
7	6/7(木)	埼玉県	★秩父方面の地層と荒川の歴史を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦	
8	6/14(木)	川崎市生涯学習プラザ	実用化が進むロボットの現状	イクシスリサーチ 代表取締役 山崎文敬	
9,10	6/28(木)	東京都江東区	★「日本科学未来館」見学、「そなエリア東京」防災体験学習	東京大学名誉教授 太田猛彦	
11	7/5(木)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川の河川防災—特に川崎市の洪水ハザードマップの更新について	川崎市総務企画局危機管理室 岡島 豊 川崎市建設緑政局河川課 佐野秀和	
12	7/19(木)		学習の記録の発表	東京大学名誉教授 太田猛彦	

★は野外学習です。 ※第7回(6/7)は講座とワークショップの合同講座。バス費用のため別途5,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。  
受講登録者数 21名 (男性 13名 女性 8名) 出席者総数 223名

後期

WS 8		身近な環境とみどりの探求		※発表あり	
【定員】50名		【受講料】2年・1年会員ともに8,640円		聴講生9,720円	
【ワークショップ】環境とみどり 【時間】毎回13時15分～15時15分(計12回)ただし、第1回・第12回および野外学習は16時頃終了となることがあります。第5回(11/15)と第10,11回(12/20)は午前中スタートとなります。★は野外学習です。 ※第5回(11/15)は講座とワークショップの合同講座です。					
概要 環境とみどりの講座で学んだことをさらに探求するため、身近な環境・みどり(自然)・防災(災害)について、実際にかかわっている方々のお話を聞いたり、現地を見学したりするワークショップです。もちろんワークショップのみの受講も歓迎です。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/4(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦	
2	10/11(木)		川崎市緑の基本計画	川崎市建設緑政局緑政部みどりの企画管理課	
3	10/18(木)	高津区	★川崎の農業(都市型農業、農家への取組、地産地消)を学ぼう—小黒恵子童謡記念館にて	川崎市経済労働局都市農業振興センター 農業振興課課長 藤澤純二 「たばな農のあるまちづくり」推進会議委員 澁谷直子	
4	11/8(木)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学の基礎	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
5	11/15(木)	山梨県	★(合同講座)北口本宮富士浅間神社と青木ヶ原樹海の自然体験	東京大学名誉教授 太田猛彦	
6	11/22(木)	川崎市生涯学習プラザ	災害時の廃棄物対策と感染症	日本環境衛生センター研修事業部長 環境カウンセラー 村岡良介	
7	11/29(木)	東京都大田区	★ヤマトグループ 羽田クロノゲート 見学	羽田クロノゲート 説明員	
8	12/6(木)	川崎市生涯学習プラザ	野田としょうゆ醸造	キッコーマン(株) 研究開発本部 阪上了一	
9	12/13(木)	高津区	★光触媒ミュージアム 見学と簡単な実験体験	神奈川県立産業技術総合研究所 落合 剛	
10,11	12/20(木)	千葉県野田市	★もの知りしょうゆ館見学と江戸川河川事務所訪問	キッコーマンもの知りしょうゆ館 説明員 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所	
12	1/24(木)	川崎市生涯学習プラザ	グループ活動の発表	東京大学名誉教授 太田猛彦	

受講登録者数 20名 (男性 12名 女性 8名) 出席者総数 217名

前期

講座 20		人間学再論—「人-生」の考え方・味わい方・嗜み方			
【定員】72名		【受講料】2年会員8,460円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
人間学		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)			
概要 「たしなむ」とは、「よく好む」ことであり同時に「つつしみ、たえる」ことでもある。今回の人間学講座では、こうした両義性をもつものとしての「人-生」の「たしなむ」について考えてみたい。「考えるということは理屈をつけることではなく、深く感じるということである。深く感じる力を自分の中に育てられないと何も見えてこない」(長田弘)。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	日本人の美意識の可能性	鎌倉女子大学教授 竹内整一	
2	4/19(木)		大衆演劇の味わい—長谷川伸の世界	都留文科大学名誉教授 鳥居明雄	
3	4/26(木)		至福のひと時—日本酒本来の姿とその楽しみ方	酒蔵・須藤本家当主 須藤 源右衛門	
4	5/10(木)		進化と深化—いま私たちは何を求めているのか①	哲学者 内山 節	
5	5/17(木)		進化と深化—いま私たちは何を求めているのか②		
6	5/24(木)		倫理の発生	哲学者 竹田青嗣	
7	6/7(木)		やはり俳句は面白い	玉藻同人・元 TBS アナウンサー 小島一慶	
8	6/14(木)		茶の湯の嗜み—稽古とはどういうことか	茶の湯文化学会理事 谷村玲子	
9	6/21(木)		名画と映画のスペクタクル	版画家・多摩美術大学教授 西岡文彦	
10	7/5(木)		名画と名曲のシンフォニー		
11	7/12(木)		フランス料理と映画	元ホテル西洋銀座「レトロ」総料理長 広田昭二	
12	7/19(木)		鉄が大きく変えた19世紀ピアノ音楽	ピアニスト 本田聖嗣	

受講登録者数 66名 (男性 30名 女性 36名) 出席者総数 673名

後期

講座 21		生老病死の思想—人間学再論			
【定員】72名		【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
人間学		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)			
概要 われわれは、なにを願い、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのだろうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/4(木)	川崎市生涯学習プラザ	霊・靈魂・たましいについて考える	鎌倉女子大学教授 竹内整一	
2	10/11(木)		AIは天国・地獄を信じるか?	東京大学教授 藤原聖子	
3	10/18(木)		生の現実感、死の現実感①	哲学者 内山 節	
4	10/25(木)		生の現実感、死の現実感②		
5	11/8(木)		永遠の命をめぐって	評論家 芹沢俊介	
6	11/15(木)		老耄(ろうもう)という適応	看取り医・東京大学名誉教授 大井 玄	
7	11/22(木)		仏教的人間観から生きる知恵をさぐる	武蔵野大学特任教授 丸井 浩	
8	11/29(木)		いのちを呼びます—人の体と心	東京大学病院内科医 稲葉俊郎	
9	12/6(木)		人生の肯定とは何を意味しているのか: その哲学の射程	早稲田大学教授 森岡正博	
10	12/13(木)		科学的生命観と人生論的生命観	東京大学教授 小松美彦	
11	1/17(木)		現代葬儀論	宗教学者 島田裕巳	
12	1/24(木)		「死んだら終わりですか?」—ある母親からの問いかけ	大谷大学学長 木越 康	

受講登録者数 80名 (男性 37名 女性 43名) 出席者総数 792名

前期

WS 9		『歎異抄』をわかりやすく読み解く		※講義の後に討論あり	
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに12,960円		聴講生14,040円	
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回15時00分～17時00分(計12回)			
概要 濁世を生きた人間の心に突き刺さる親鸞の珠玉の言葉を収めた書物として、近代以降、多くの人に親しまれてきたのが『歎異抄』です。ここでは、背景にある浄土教の思想を丁寧に確認しつつ『歎異抄』全条を読み、親鸞思想の奥行きゆたかさを皆さんと一緒に味わってみたいと思います。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	浄土教の基礎知識～『歎異抄』を読み解くにあたって	東京医療保健大学准教授 山本伸裕	
2	4/19(木)		『歎異抄』の背景～唯円の「序」と蓮如の「識語」を読む		
3	4/26(木)		1条「弥陀の本願」、2条「地獄は一定」		
4	5/10(木)		3条「悪人正機」、4条「浄土の慈悲」、5条「追善供養」		
5	5/17(木)		6条「弟子一人」、7条「無碍の一道」、8条「非行非善」		
6	5/24(木)		9条「煩惱の所為」、10条(別序)「無義をもって義とす」		
7	6/7(木)		11条「誓願の不思議」、12条「一文不通の者の信」		
8	6/14(木)		13条「本願ほごり」		
9	6/21(木)		14条「一念発起の功德」、15条「信心のさだまるとき」		
10	7/5(木)		16条「回心」、17条「辺地往生」、18条「信心かけなば」		
11	7/12(木)		後序(前半)「如来よりたまわたりたる信心」		
12	7/19(木)		後序(後半)「親鸞一人がためなりけり」、まとめ		

受講登録者数 30名 (男性 17名 女性 13名) 出席者総数 322名

後期

WS 9		『古今和歌集』の人間像		※講義の後に討論あり	
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに12,960円		聴講生14,040円	
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回15時00分～17時00分(計12回)			
概要 『古今和歌集』の歌には、平安時代の人々の自然や人間に対する豊かな思いがこめられています。一首一首をきめ細かなことばの味わいに即して読み解き、その思考や感性に迫ります。テキストは、角川ソフィア文庫を用います(すでに他のものをお持ちであれば、それでもかまいません)。各回に自由な感想発表や質疑応答の時間を設けます。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/4(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	『古今和歌集』とはどんな歌集か(成立・構造・歌風)	青山学院大学教授 高田祐彦	
2	10/11(木)		春の歌を読み味わう(春上・下巻)		
3	10/18(木)		秋の歌を読み味わう(秋上・下)		
4	10/25(木)		ほととぎすと雪(夏と冬の歌)		
5	11/8(木)		別れと旅立ち(離別・羈旅)		
6	11/15(木)		お祝いと遊び心(賀・物名)		
7	11/22(木)		恋はいかに始まるか(恋一・恋二)		
8	11/29(木)		恋はいかに展開するか(恋三・恋四)		
9	12/6(木)		恋はいかに終わるか(恋五)		
10	12/13(木)		死を悼む(哀傷)		
11	1/17(木)		人生の諸相(その1、雑上)		
12	1/24(木)		人生の諸相(その2、雑下・雑躰)		

受講登録者数 28名 (男性 11名 女性 17名) 出席者総数 293名

前期

講座 21		モーツァルトの協奏曲の世界 — 華麗なる古典派協奏曲の誕生と完成 —					
【定員】300名		【受講料】2年会員:9,720円、1年会員:10,800円		聴講生:14,040円			
音楽 I		【時間】毎回10時40分～12時10分(計12回)					
概要 モーツァルトは18世紀古典派の作曲家としておよそ50曲もの協奏曲を、私たち後世の愛好家のために遺してくれました。彼自身が無類のピアノとヴァイオリンの弾き手でしたし、同時代の抜きん出た管の名手たちのためにも他の作曲家たちとは比べ物にならない程の名曲を書いています。その中からとりわけ名品を選び、主としてDVDで現代の名演奏家たちの名演を鑑賞し、併せて近代演奏史を飾る過去の巨匠たちの名盤もピックアップ、CDでもお楽しみ頂きましょう。							
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)			
1	4/5(木)	新百合21ビルB2 多目的ホール	モーツァルトの協奏曲とは — バロック・コンチェルトの超克と古典派協奏曲の登場 —	日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏			
2	4/12(木)		協奏曲作家修行の少年モーツァルト — 先人作曲家たちのソナタをモデルに —				
3	5/10(木)		最初のピアノ協奏曲誕生とその周辺 — 後年のウィーン時代のレパートリー —				
4	5/24(木)		ヴァイオリン協奏曲の連作 — 古典派ヴァイオリン・コンチェルトの典型をザルツブルクで —				
5	5/31(木)		管楽器のコンチェルトを名手たちに捧ぐ — 名曲揃いの木管・金管コンチェルト —				
6	6/14(木)		アマチュア演奏者に贈り物 — フルートの曲を中心に —				
7	6/21(木)		ザルツブルク時代のピアノ・コンチェルト — 町内の名家の子女に捧ぐ —				
8	6/28(木)		<サンフオーネ・コンサルタント>の世界 — マンハイム・パリの流行ジャンルを故郷ザルツブルクへ —				
9	7/12(木)		レクチャーコンサート — 木管協奏曲を中心に — 曲目: ファゴット協奏曲、フルート協奏曲第1番 他 *1 演奏者: ファゴット:馬込 勇、フルート:佐久間未帆、ピアノ:植田克己 解説:海老澤敏			日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏	
10	7/19(木)		ウィーンのピアノ協奏曲作曲家モーツァルト — 量産のピアノ・コンチェルト —				
11	7/26(木)		ウィーン中期のピアノ・コンチェルト — 異例の短調作品を含む傑作の森 —				
12	8/2(木)		最後の年の協奏曲を聴く — 究極の古典派協奏曲の姿 —				

\*1-有料公開コンサート。資料代として1,500円集金。 受講登録者数 108名 (男性 67名 女性 41名) 出席者総数 1,103名

後期

講座 22		モーツァルトの交響曲の世界					
【定員】300名		【受講料】2年会員 9,720円 1年会員 10,800円		聴講生 14,040円			
音楽 I		【時間】毎回10時40分～12時10分(計12回)					
概要 モーツァルトは古典派作曲家としては唯一人すべてのジャンルの作曲を試みた存在でした。前期の協奏曲と同様、交響曲の分野でも、古典派の作品の誕生から終焉の全過程、全カーヴをみずから描き切っています。その全体像を皆様と一緒に忠実に追い、聴き取って頂きましょう。							
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)			
1	9/27(木)	新百合21ビルB2 多目的ホール	モーツァルトの交響曲誕生物語	日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏			
2	10/4(木)		最初の<ウィーン交響曲>をめぐって				
3	10/11(木)		ザルツブルクでのシンフォニスト・デビュー				
4	10/18(木)		イタリアのシンフォニアの中のモーツァルト				
5	10/25(木)		モーツァルトの<ザルツブルク・シンフォニー>				
6	11/15(木)		パリの<サンフオーネ>の只中のモーツァルト				
7	11/29(木)		二つの《ハフナー・シンフォニー》の境域				
8	12/13(木)		レクチャー・コンサート 室内楽編曲版交響曲を中心に *1 曲目: 《ピアノ三重奏曲 ホルン調》K.542、《交響曲 第40番 ト短調》K.550 (M.クレメンティ編曲版) 演奏者: 高市紀子(フルート)、篠崎功子(ヴァイオリン)、松波恵子(チェロ)、小川京子(ピアノ)、海老澤 敏(解説)			日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏	
9	12/20(木)		《リンツ》と《プラハ》—二つの古典派シンフォニー代表作—				
10	1/24(木)		<三大交響曲>の世界 — 《変木長調シンフォニー》				
11	1/31(木)		<三大交響曲>の世界 — 《ト短調シンフォニー》				
12	2/7(木)		<三大交響曲>の世界 — 《ジュピター交響曲》				

\*1-有料公開コンサート。資料代として1,500円集金。 受講登録者数 119名 (男性 67名 女性 52名) 出席者総数 1,143名



前期

講座 22	「変奏曲」の名作を聴く		
	【定員】300名	【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円	
音楽Ⅱ	【時間】毎回13時30分～15時00分 (計12回)		
概要	音楽作品の作り方の一つに「変奏」という有力な手法があります。ここでは、冒頭に提示された主題を基に作曲が進められるので、言わば「ネタが割れている」訳ですから、聴き手は、作曲者の手の内を如実に跡付ける事が出来るので、興味が尽きません。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容
1	4/5(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	変奏曲 (Variation) とは。
2	4/12(木)		バッハ「ゴールドベルグ変奏曲」 ヘンデル「調子のよい鍛冶屋」他
3	5/10(木)		ハイドン「アンダンテと変奏曲へ短調」[弦楽四重奏曲<皇帝>第2楽章]他
4	5/24(木)		モーツァルト「キラキラ星変奏曲」他
5	5/31(木)		ベートーヴェン「イギリス国家による変奏曲」「ディアベッリ変奏曲」他
6	6/14(木)		シューベルト「くしぼめる花」による変奏曲」「くさすらい人」幻想曲」 メンデルスゾーン「厳格な変奏曲」他
7	6/21(木)		シューマン「アベッグ変奏曲」「交響的練習曲」他
8	6/28(木)		ブラームス「ヘンデル変奏曲」「バガニニ変奏曲」「ハイドン変奏曲」他
9	7/12(木)		ショパン「くお手をどうぞ」による変奏曲」 リスト「バッハの名による前奏曲とフーガ」他
10	7/19(木)		フランク「交響的変奏曲」 ラヴェル「ボレロ」他
11	7/26(木)		チャイコフスキー「ロココ風の主題による変奏曲」 ラフマニノフ「バガニニの主題による狂詩曲」他
12	8/2(木)		レーガー「モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ」 エルガー「変奏曲<エニグマ(謎)>」他
			講師名(敬称略) 音楽評論家 丹羽正明

受講登録者数 100名 (男性 50名 女性 50名) 出席者総数 975名

後期

講座 23	世界音楽の多様な表情—その豊かな広がりを読み解く		
	【定員】300名	【受講料】2年会員 10,260円 1年会員 11,340円 聴講生 14,580円	
音楽Ⅱ	【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	さまざまなメディアを通して世界の音楽に親しむ機会が増えました。その見方、聴き方の手がかりを知ることで、さらに身近な存在となります。今回は楽器、国民的な音楽様式、楽師にスポットライトをあてて豊かでユニークな音の世界をのぞいてみます。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容
1	9/27(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	楽器の諸相①アジアの koto—その多様な表現をさぐる
2	10/4(木)		楽器の諸相②パリのガムラン—音楽的構造と楽器製作の現場
3	10/11(木)		楽器の諸相③不思議な工夫の楽器たち
4	10/18(木)		キルギスの音楽をさく 【ゲスト】ウメトバエヴァ・カリマン( コムズ、口琴 ) ***1
5	10/25(木)		ヨーロッパの国民的様式①ポロネーズ
6	11/15(木)		ヨーロッパの国民的様式②ポルカ
7	11/29(木)		ヨーロッパの国民的様式③ハンガリー風
8	12/13(木)		ヨーロッパの国民的様式④コロ
9	12/20(木)		フォルクローレをさく 【ゲスト】池山由香(アルパ)、リッキー・ロドリゲス(ケーナ、チャランゴ)***2
10	1/31(木) 13:30～15:00		楽師の世界①トルコの吟遊詩人
11	1/31(木) 15:10～16:40		楽師の世界②ユダヤの大衆音楽家
12	2/7(木)		楽師の世界③アフリカから世界へ—グリオ
			講師名(敬称略) 国立音楽大学教授 横井雅子

受講登録者数 76名 (男性 34名 女性 42名) 出席者総数 757名

前期

WS 10	近松再読		
	【定員】44名	【受講料】2年・1年会員 12,960円 聴講生 14,040円	
【ワークショップ】音楽・芸能	【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)		
概要	昨年度前期に引き続き近松門左衛門を取り上げます。今回は元禄・享保期という近松が生きた時代をまず知ることはじめたいと考えます。近松は人形浄瑠璃作者である一方、歌舞伎作者でもありました。今回は彼の歌舞伎作品も講読し、彼が活動した元禄期上方歌舞伎について考察します。そのうえで人形浄瑠璃作品も鑑賞します。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容
1	4/5(木)	麻生市民館 第1会議室	近松の時代—元禄・享保期
2	4/12(木)	麻生市民館 視聴覚室	近松と歌舞伎—初代坂田藤十郎
3	4/26(木)	麻生市民館 第1会議室	近松と歌舞伎—『けいせい仏の原』
4	5/24(木)		『姫山姥』の世界
5	5/31(木)		舞踊「山姥物」をめぐって
6	6/14(木)	国立劇場	歌舞伎鑑賞教室
7	6/21(木)	麻生市民館 視聴覚室	歌舞伎、文楽の小道具
8	6/28(木)		『傾城返魂香』—芸術が生む奇跡
9	7/12(木)		『傾城返魂香』から「大津絵の所作事」へ
10	7/19(木)		『心中天網島』—義理とは何か
11	7/26(木)	麻生市民館 第1会議室	『心中宵庚申』—最後の心中物
12	8/2(木)		文楽の楽しみ
			講師名(敬称略) 清泉女子大学講師 武藤純子 白百合女子大学講師 安富 順 群馬県立女子大学講師 阿部 さとみ 白百合女子大学講師 安富 順 伝統芸能の道具ラボ主宰 田村民子 歌舞伎研究者・演奏家 大倉直人 早稲田大学講師 原田真澄 武蔵野美術大学講師 小島智章

受講登録者数 42名 (男性 8名 女性 34名) 出席者総数 423名

後期

WS 10	昭和の思い出の名優 その1 —17代目中村勘三郎		
	【定員】44名	【受講料】2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円	
【ワークショップ】音楽・芸能	【時間】13時30分～15時30分 (計12回)		
概要	昭和の思い出の名優—平成が終わり昭和はますます遠い風景となります。しかし、私たちの記憶・回想・思い出に昭和は生きています。劇場で観たあの芝居・この芝居、あの役者・この役者。記憶に刻まれた役者を語ることで、戦後歌舞伎史を振り返りたいと考えています。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容
1	10/4(木)	麻生市民館 第1会議室	江戸時代の中村勘三郎家
2	10/11(木)	麻生市民館 視聴覚室	17代目勘三郎—その父と二人の兄
3	10/25(木)	麻生市民館 第1会議室	舞台の裏表から見た17代目勘三郎(1)
4	11/1(木)		勘三郎の時代物(1)
5	11/15(木)	麻生市民館 視聴覚室	勘三郎の時代物(2)
6	11/29(木)	麻生市民館 第1会議室	舞台の裏表から見た17代目勘三郎(2)
7	12/6(木)	麻生市民館 視聴覚室	勘三郎の世話物(1)
8	12/13(木)	麻生市民館 第1会議室	勘三郎の踊り
9	1/17(木)	麻生市民館 視聴覚室	勘三郎家と猿若流の踊り
10	1/24(木)	麻生市民館 第1会議室	勘三郎の世話物(2)
11	1/31(木)		勘三郎と8代目竹本綱太夫
12	2/14(木)	麻生市民館 視聴覚室	21世紀の歌舞伎俳優への期待
			講師名(敬称略) 白百合女子大学講師 安富 順 明治大学教授 神山 彰 白百合女子大学講師 安富 順 明治大学教授 神山 彰 歌舞伎研究者 大倉直人 群馬県立女子大学講師 阿部 さとみ 歌舞伎研究者 大倉直人 武蔵野美術大学講師 小島智章 早稲田大学教授 児玉竜一

受講登録者数 42名 (男性 8名 女性 34名) 出席者総数 419名

前期

講座 23	<b>東国武士団の動向—武蔵・相模の武士たちの群像</b>			
	【定員】50名	【受講料】2年会員4,320円	1年会員4,860円	聴講生6,480円
宮前(歴史)	【時間】毎回14時00分～15時30分(計6回)			
概要	東国武士団の盛衰を地域に特化して考えます。南関東地域を活躍の舞台とし、武士たちの動向を定点観測しながら、彼ら武士団の「一所懸命」の世界に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/19(木)	宮前市民館 4階 第4会議室	東国武士団の動向	日本大学教授 関 幸彦
2	4/26(木)		源平の争乱と南関東武士団	
3	5/17(木)		南北朝の動乱と南関東武士団	
4	5/24(木)		『平家物語』と武蔵武士の群像	早稲田大学講師 平藤 幸
5	5/31(木)		『平家物語』と相模武士の群像	
6	6/7(木)		鎌倉街道・古戦場・城郭を歩く	

受講登録者数 58名 (男性 44名 女性 14名) 出席者総数 314名

後期

講座 13	<b>発掘調査等からみる中世史—武蔵・相模の様相を探る</b>			
	【定員】50名	【受講料】2年会員4,320円	1年会員4,860円	聴講生6,480円
宮前(歴史)	【時間】14時00分～15時30分(計6回) 第4回目は、小田原駅13時30分集合。約2時間位歩きます			
概要	前期の文献史学からみた中世史を受けて、後期は発掘調査の成果からみた武蔵・相模の中世地域史を学びます。現地の調査に関わった研究者による講話から、生々しい歴史の一面が見聞できるでしょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(火)	宮前市民館 4階 第4会議室	文学資料と考古資料の邂逅—歴史に深みを	日本考古学協会会員 村田文夫
2	10/16(火)		発掘された鶴見川流域の中世城館	元横浜市埋蔵センター調査員 坂本 彰
3	10/23(火)		秀吉と石垣山一夜城	元小田原市教育委員会学芸員 塚田順正
4	10/30(火)	現地	小田原城の総構(そうがまえ)を歩く	小田原城天守閣館長 諏訪 順
5	11/6(火)	宮前市民館 4階 第4会議室	大山信仰と大山道	伊勢原市教育委員会 諏訪 伸
6	11/13(火)		発掘された多摩川中流域の中世集落—落川一の宮遺跡	元東京都教育委員会学芸員 福田健司

受講登録者数 29名 (男性 21名 女性 8名) 出席者総数 149名

前期

講座 24	<b>インド史</b>			
	【定員】144名	【受講料】2年会員8,640円	1年会員9,720円	聴講生12,960円
世界史	【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	日本と南アジア、とくに日本とインドの関係は、政治的にも経済的にも、21世紀に入りますますます重要になっています。今回の世界史講座では、権力者の視点からではなく、民衆(サバルタン)の視点から、この地域の歴史を考えたいと思います。インド亜大陸における古代からイスラム時代、大英帝国時代、独立を遂げた20世紀後半から現在まで、数千年の歴史を概観し、宗教・民族・カースト・貧富の格差・ジェンダー、辺境と中央といった課題を、今日の民主主義、人権、平和の視点から検討していきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(金)	川崎市生涯学習プラザ	民衆(サバルタン)の南アジア史は可能か?インド史の脱構築	立教大学教授 竹中千春
2	4/20(金)		南アジアの多様な地歴構造	立教大学名誉教授 小西正捷
3	4/27(金)		インド史への視座:多様性の統合	東京大学教授 田辺明生
4	5/11(金)		盗賊のインド史:古代、ムガル帝国、大英帝国	立教大学教授 竹中千春
5	5/18(金)		英領インドの医療・公衆衛生:植民地における近代とは何か	大阪市立大学教授 脇村孝平
6	5/25(金)		インドの民主主義の70年	京都大学教授 中溝和弥
7	6/8(金)		ガンディーと民衆(サバルタン)のナショナリズム	立教大学教授 竹中千春
8	6/15(金)		独立インドとジェンダー	
9	6/22(金)		現代インドのカースト、ダリ(旧不可触民)の声と運動の視点から	人間文化研究機構/東京外国語大学研究員 鈴木真弥
10	7/6(金)		独立インドと北東部、アッサム州	津田塾大学准教授 木村 真希子
11	7/13(金)		独立インドとカシミール、そしてパキスタン	立教大学博士後期課程 永野和茂
12	7/20(金)		グローバリゼーション時代の南アジア:市場経済、民主主義、アイデンティティの政治	立教大学教授 竹中千春

受講登録者数 112名 (男性 77名 女性 35名) 出席者総数 1,144名

後期

講座 24	<b>世界史の中の日本と朝鮮—19世紀から21世紀まで</b>			
	【定員】144名	【受講料】2年会員8,640円	1年会員9,720円	聴講生12,960円
世界史	【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	南北朝鮮の関係が劇的に変化しようとしています。それでは、日本と朝鮮半島との関係はどのように変化するのでしょうか。それを考えるには、19世紀以降、日本と朝鮮の関係が何故、如何にして変化してきたのかについての考察が必要不可欠でしょう。過去の事実を直視してこそ、今後の両者の関係は未来を志向するものとなるでしょう。しかもそれには、両者の関係にのみ注目するのではなく、それを世界史の中に位置付ける視座が必要です。それを検討していきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯学習プラザ	東アジア国際秩序と西欧	東京女子大学教授 茂木敏夫
2	10/5(金)		朝鮮の中華思想と日本との関係	首都大学東京名誉教授 森山茂徳
3	10/12(金)		日本・朝鮮の開国と外交関係	県立広島大学名誉教授 原田 環
4	10/19(金)		日本・朝鮮の開化と朝鮮の植民地化	東京大学教授 月脚達彦
5	10/26(金)		植民地統治と国際関係	上智大学教授 長田彰文
6	11/9(金)		日本の植民地統治政策の推移	首都大学東京名誉教授 森山茂徳
7	11/16(金)		植民地朝鮮の知識人と民衆	千葉大学教授 趙 景達
8	11/30(金)		第二次世界大戦と日本・朝鮮	首都大学東京名誉教授 森山茂徳
9	12/14(金)		日本敗戦と朝鮮の解放・分断	
10	12/21(金)		日韓関係の変化	学習院大学教授 磯崎典世
11	1/18(金)		日朝関係の変化	東京大学教授 木宮正史
12	1/25(金)		国際システムの変化と日本・朝鮮	慶應義塾大学名誉教授 小此木 政夫

受講登録者数 147名 (男性 118名 女性 29名) 出席者総数 1,453名

前期

みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める				
講座 25	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	みどり学Ⅱ 【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分、4/6,4/13は8時00分~18時00分 予定、6/8はA班10時00分~11時30分・B班13時00分~14時30分(計12回)			
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	4/6(金)	静岡県静岡市 (登呂遺跡)	稲作文化と杉のかかわりを三保の松原とともに考える (バス利用)	A班実施・B班休み
	4/13(金)			B班実施・A班休み
3	4/27(金)	川崎市生涯 学習プラザ	ツツジを科学する~ツツジのルーツと多様な種類	A・B班実施 森林インストラクター 武部 令
4,5	5/11(金)	横浜道運	江戸から東京に変わる時代の体感散策	B班実施・A班休み
	5/18(金)			A班実施・B班休み
6,7	5/25(金)	平山城址公園	東京薬科大学薬用植物園が存在する丘陵の歴史探訪	B班実施・A班休み
8	6/8(金)	多摩川台公園	多摩川台公園で蜘蛛の生き様を体験する	A班午前・B班午後 日本蜘蛛学会 新井浩司
6,7	6/15(金)	平山城址公園	東京薬科大学薬用植物園が存在する丘陵の歴史探訪	A班実施・B班休み
9	6/22(金)	川崎市生涯 学習プラザ	戦争が巨木を伐った・知られざる全国の軍需造船供木運動	A・B班実施 武蔵大学名誉教授 瀬田勝哉
10	7/6(金)		地形から見る日本文明	A・B班実施 NPO法人日本水フォーラム代表理事 竹村 公太郎
11	7/13(金)		身近なアリの不思議な社会生活	A・B班実施 東京農工大学准教授 佐藤俊幸
12	7/20(金)		世界一の樹木セコイアギガンティアと針葉樹の起源	A・B班実施 宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講。※3/30(金)10時00分より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第1,2回4/6,4/13は、バス借上げ代等を別途5,000円ほど集金。バスの手配は、富士急トラベルに依頼。※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。受講登録者数 67名 (男性 26名 女性 41名) 出席者総数 631名

後期

みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める				
講座 25	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	みどり学Ⅱ 【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分、12/14,12/21は8時00分~18時00分 予定(計12回)			
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯 学習プラザ	日本の桜があふない! 危険なカキリムシが各地で繁殖	A・B班実施
2,3	10/5(金)	東京都 国立市	国立桜並木と一橋大学構内の森見学	B班実施・A班休み
	10/12(金)			A班実施・B班休み
4	10/19(金)	川崎市生涯 学習プラザ	透明度世界一のバイカル湖の本当の凄さ	A・B班実施
5	10/26(金)		ミズの願い「もっと私を知ってほしい!」	A・B班実施 ミズ研究家 石塚 小太郎
6	11/16(金)		江戸の町並みに秘められた謎と忠臣蔵のミステリー	A・B班実施 NPO法人日本水フォーラム代表理事 竹村 公太郎
7	11/30(金)		シカ問題を考える	A・B班実施 元麻布大学教授 高槻成紀
8	12/7(金)		日本シカとインディアンテリトリー ~森林の保護か、生息地の保護か	A・B班実施 宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
9,10	12/14(金)	伊豆下多賀 (バス利用)	ヒマラヤの南麓に咲く秋咲きの野生種、 ヒマラヤザクラを検証する	B班実施・A班休み
	12/21(金)			A班実施・B班休み
11,12	1/18(金)	葛西臨海公園	東京湾に現れる冬の蜃気楼を葛西臨海公園で観察する	A班実施・B班休み
	1/25(金)			B班実施・A班休み

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講。※9/28(金)10時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第9,10回12/14,12/21は、バス借上げ代等を別途5,000円集金。バスの手配は、富士急トラベルに依頼。※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。受講登録者数 66名 (男性 25名 女性 41名) 出席者総数 611名

前期

山の自然学				
講座 26	【定員】30名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	山の自然学 【時間】講義:13時00分~14時30分、野外:10時30分~14時30分、5/25は8時00分~18時00分予定(計12回)			
概要	山の自然学とは、山や川、丘陵などの自然をそのまま、まとめて把握しようとする分野です。植物や湧水等がなぜそこにあるかを、地形・地質や気候、水条件などからつな がりの形で説明します。講座の半分は野外で自然を観察し、残りはその時々話題を拾って紹介します。知的登山、あるいは知的観光といってもよい分野です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	4/13(金)	東京都あきる野市	あきる野市の湧水と切欠のカタクリ、雨武主神社のツガ林の観察	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
3	4/27(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学(山の自然学)基礎	
4,5	5/11(金)	神奈川県大磯・高麗山	高麗山の地形・地質、植生を観察する	
6,7	5/25(金)	栃木県那須岳・茶臼岳	那須岳・茶臼岳の火山植生の観察(バス利用)	
8	6/8(金)	川崎市 生涯学習プラザ	地生態学の考えかた	
9	6/22(金)		地生態学の歴史1 ドイツ・アメリカ編	
10	7/6(金)		地生態学の歴史2 日本編1	
11	7/13(金)		地生態学の歴史3 日本編2	
12	7/20(金)		地生態学図の作成をめぐる	
			(株)地域環境計画 増澤 直	

※学習内容は長年みどり学を受講した方に向け。※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※3/30(金)の11時より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡および野外学習を安全に運営するための費用の集金等)を実施。※第6,7回5/25(金)は、バスの借上げ費用等で別途7,000円程集金。バスの手配は富士急トラベルに依頼。受講登録者数 35名 (男性 12名 女性 23名) 出席者総数 377名

後期

山の自然学				
講座 26	【定員】30名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	山の自然学 【時間】講義:13時00分~14時30分、野外:10時30分~14時30分予定、ただし11/2は8~18時予定(計12回)			
概要	植物はなぜそこにあるのか。これが講座『山の自然学』基本テーマである。そのためには植物の分布を地形・地質や水条件、自然史などから多面的に考察する必要がある。今期は、山の自然学の基本について前期に引き続き体系的に紹介するほか、できるだけ野外にて地生態学的な視点から考察していきたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯 学習プラザ	地生態学の歴史 日本編3	東京学芸大学名誉教授 小泉 武栄
2,3	10/5(金)	東京都あきる野市 (武蔵五日市)	五日市・横沢入りの里山と大悲願寺、東光院	
4,5	11/2(金)	下仁田ジオパーク (バス利用)	下仁田ジオパークの特異な地形・地質を観察する	
6	11/9(金)	川崎市生涯 学習プラザ	多摩川のカワラノギク	
7	11/30(金)		地生態学の歴史 日本編4	
8	12/7(金)		地生態学の考え方2	
9,10	12/14(金)	玉川上水	玉川上水(羽村マイマイズ井戸、上水取り入れ口、立川断層)	
11	1/25(金)	川崎市生涯 学習プラザ	地生態学の考え方3	
12	2/1(金)		地生態学の考え方4	

※学習内容は長年みどり学を受講した方に向け。※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※9/28(金)の12時30分より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡および野外学習を安全に運営するための費用の集金等)を実施。※第4,5回11/2(金)は、バス借上げ代等が別途7,000円程集金。バスの手配は、富士急トラベルに依頼。受講登録者数 32名 (男性 10名 女性 22名) 出席者総数 332名

前期

講座 27	いま見なければ損をする！フランス美術の魅力が満載—新古典主義からシュルレアリスムまで			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
	美術Ⅱ 【時間】毎回10時30分～12時00分、第4回のみ10時00分～11時30分 (計12回)			
概要	パリが単にフランスの首都ではなく芸術の都として輝いたのは、19世紀から20世紀前半までの時代です。どんな画家たちがどんな作品を制作したのかを時代を追って見て行こうと思います。魅力的な作品鑑賞の旅を皆さんと楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(金)	新百合21ビル B2 多目的ホール	新古典主義：ダヴィッドとアングル	多摩美術大学教授 中村隆夫
2	4/13(金)		ロマン主義：先駆者ジェリコとドラクロワ	
3	5/11(金)		クールベの生涯と作品	
4	5/18(金)		印象主義①：モネを中心に	
5	5/25(金)		印象主義②：ルノワールを中心に	
6	6/1(金)		ゴーガン①：初期からポン＝タヴァン時代	
7	6/15(金)		ゴーガン②：タヒチの時代を中心に	
8	6/22(金)		ゴッホ①：オランダ時代を中心に	
9	6/29(金)		ゴッホ②：フランス時代を中心に	
10	7/13(金)		モローと象徴主義の画家たち	
11	7/20(金)		フォーヴィスム：ドラン、ヴラマンク、マティス他	
12	7/27(金)		シュルレアリスム：エルンスト、タリソしてマグリット	

受講登録者数 170名 (男性 53名 女性 117名) 出席者総数 1,762名

後期

講座 27	じっくり学ぶ 西洋の美術と文化の歴史 —中世の始まりまで			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
	美術Ⅱ 【時間】毎回10時30分～12時00分、但し第6回(11/2)のみ10時00分～11時30分 (計12回)			
概要	西洋の歴史と文化を、起源から古代の終焉にかけてじっくりと見ていきます。発祥の地であるメソポタミアとエジプト、その後の基盤となるギリシャとローマ。その流れを詳しく知ること、皆様の今後の異文化理解や美術鑑賞がより深いものとなるはず。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	新百合21ビル B2 多目的ホール	洪水神話の比較からみる、古代文化の伝播と相互関係	東京造形大学教授 池上英洋
2	10/5(金)		西洋文明のはじまり —原始社会と定住	
3	10/12(金)		メソポタミアとエジプト —西洋文明の父と母	
4	10/19(金)		ギリシャ文明圏の成立とヘレニズム文化	
5	10/26(金)		ローマの形成 —戦争と膨張	
6	11/2(金)		ローマの発展 —巨大インフラの整備	
7	11/16(金)		ふたつの政体 —共和政と君主政	
8	11/30(金)		多神教から一神教へ	
9	12/14(金)		キリスト教の教義の整備	
10	12/21(金)		パックス・ローマとキリスト教の広がり	
11	1/18(金)		古代のひとびとの暮らし	
12	1/25(金)		古代の遺産-古代美術の受容について	

使用テキスト：『ヨーロッパ文明の起源』、池上英洋、筑摩書房 (ちくまブライナー新書、2017年)、税別 860円。各自ご用意下さい。

受講登録者数 207名 (男性 64名 女性 143名) 出席者総数 2,083名

前期

WS 11	西洋絵画の達人養成講座			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	「静物画」、「風景画」などに分けられる絵画をそれぞれの成立から説き起こし、その見どころをしっかりと押さえる達人を養成する講座です。前半では大まかな流れを解説し、後半では受講生の皆さんに、御自身の興味に応じて自由に発表していただきます。美術館のボランティアの方々にもプラスになる内容にしたいと思っています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(金)	新百合21ビル B2 第2会議室	絵画の鑑賞法;構図と内容(主題);ラファエッロからジャポニスムまで	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	4/13(金)		歴史画;聖なる物語による権力の称揚;アルベルティが伝えたかったこと	
3	5/11(金)	第1会議室	肖像画;絵の中の人物は何を語るか;モナ・リザ、レンブラントの自画像、他	
4	5/25(金)	新百合21ビル B2 第2会議室	風俗画;「人間とは何か」から得られる教訓;ボス、カラヴァッジョ、マネ他	
5	6/1(金)		風景画;舞台背景から理想郷へ;ジョルジョーネから印象派へ	
6	6/15(金)		静物画;物に込められた象徴主義;フェルメール、シャルダン、セザンヌ他	
7	6/22(金)		研究1;歴史画;宗教画・神話画の見どころ	
8	6/29(金)		研究2;肖像画;芸術家の自画像	
9	7/13(金)		研究3;風俗画;生活の喜び	
10	7/20(金)		研究4;風景画;自然と建築を見る楽しみ	
11	7/27(金)		研究5;静物画;「メメント・モリ」と静物のドラマ	
12	8/3(金)		まとめ;絵画の様々な見方	

受講登録者数 45名 (男性 14名 女性 31名) 出席者総数 477名

後期

WS 11	西洋古代絵画史入門 — 古代ギリシア絵画へのあこがれ			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	近年新しい発見が相次ぎ、古代絵画史の頁が書き換えられつつあります。新発見の絵画資料と古代ギリシア独特の絵画媒体である陶器画資料を多用しながら、さまざまな角度から古代ギリシア絵画を捉え直し、その魅力を受講生の皆さんと一緒に探ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(金)	新百合21ビル B2 第2会議室	はじめに — 西洋古代絵画の概要と特色について	元武蔵野美術大学教授 篠塚 千恵子
2	10/12(金)		失われた古代ギリシア絵画を求めて — 西洋近世の画家たちの試み	
3	10/19(金)		ギリシア青銅器時代の絵画(エーゲ絵画と総称)の発見	
4	10/26(金)		エーゲ絵画の魅力を探る	
5	11/2(金)		ギリシア陶器画の世界への誘い	
6	11/16(金)		ギリシア陶器画の巨匠たち 1	
7	11/30(金)		ギリシア陶器画の巨匠たち 2	
8	12/14(金)		ギリシア陶器画から絵画の革命を考える	
9	12/21(金)		ギリシア絵画史の新しい頁 — マケドニアの墓壁画	
10	1/18(金)		古代モザイク画の魅力を探る	
11	1/25(金)		ポンペイの壁画とギリシア絵画	
12	2/1(金)		おわりに — 西洋古代絵画の魅力を語る	

受講登録者数 45名 (男性 10名 女性 35名) 出席者総数 451名

前期

講座 28	<b>室町時代の社会と文化 文化史から応仁の乱を考える</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
エクセレントII		【時間】毎回13時30分～15時00分(計12回)		
概要	室町時代の文化、およびその文化を生み出しあるいは機能する社会について学びます。従来の北山文化・東山文化といった文化区分の定義を一旦離れ、中世後期の日本社会に存在した様々な文化やそれらの文化に通底するものがなにかに目を向けます。方法としては、6つのテーマを設け、各テーマを①総論と②代表的な文化の各論とをセットで学びながら、室町時代の社会の特質と文化との相関関係について考えます。そのことは必然的に社会の特質としての戦乱と文化との関係、中でも応仁の乱について問うことにつながるでしょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	室町文化とはなにか①私たちの北山・東山文化イメージ	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
2	4/13(金)		室町文化とはなにか②金閣・銀閣はなにを象徴するのか	
3	5/11(金)		共同体の文化①一揆・座の時代と呼ばれるのはなぜか	
4	5/25(金)		共同体の文化②連歌・茶はどのような共通性を持つのか	共立女子短期大学文科教授 菅野扶美
5	6/1(金)		宗教と文化①神と仏とはどのように習合していたのか	
6	6/15(金)		宗教と文化②禅宗が天神信仰に与えた影響とはなにか	
7	6/22(金)		洗練と伝播①文化はどのように京都を往き来したのか	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
8	6/29(金)		洗練と伝播②能・狂言・芸能から考える室町文化の特徴	京都造形芸術大学講師 杉山美絵
9	7/13(金)		応仁の乱後の京都①「洛中洛外図」に見る復興後の様子	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
10	7/20(金)		応仁の乱後の京都②祇園祭を支えた町衆文化と法華一揆	
11	7/27(金)		世界の中の室町文化①アジアとの交流・西洋との出会い	
12	8/3(金)		世界の中の室町文化②ルイス・フロイスが日本で見たもの	

受講登録者数 129名 (男性 79名 女性 50名) 出席者総数 1,321名

後期

講座 28	<b>室町時代の社会と文化(2)～室町びとの労働・富・文化～</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
エクセレントII		【時間】毎回13時30分～15時00分(計12回)		
概要	室町時代に生きた人びとはどのような職につき、働き、収入を得、文化的な生活を営んでいたのでしょうか？ また経済活動と文化とはどのような関係にあるのでしょうか？ 同時代の日本列島に生きた様々な人びとの労働に注目することで、室町文化について考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	将軍 将軍家の日明貿易(公方御蔵・同朋衆・唐物)	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
2	10/5(金)		天皇 権威の上昇と文化活動	日本女子大学講師 三島暁子
3	10/12(金)		公卿 三条西実隆の生活～公卿の収入と文化～	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
4	10/19(金)		鎌倉府 関東十カ国の経済基盤と足利学校	
5	10/26(金)		都市 地方大都市における富の形成と文化(堺・博多)	
6	11/16(金)		大名 大内氏の日朝貿易と山口の文化	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
7	11/30(金)		職人 「職人歌合」に見る職人・芸能民の生活と文化	共立女子短期大学文科教授 菅野扶美
8	12/14(金)		地方商人 商人が運ぶ富と文化	京都造形芸術大学講師 比企貴之
9	12/21(金)		町衆 角倉一族の公共事業と貿易	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
10	1/18(金)		領主 海の領主の富と交流(倭寇・シルバークラッシュ)	
11	1/25(金)		農民 九条政基の旅～地方農村の生活と文化～	
12	2/1(金)		宗教勢力 比叡山延暦寺の富と文化	京都造形芸術大学講師 佐々木 創

受講登録者数 104名 (男性 63名 女性 41名) 出席者総数 1,051名

前期

講座 29	<b>経済危機と経済理論—だれにも分かる理論と現実のお話</b>			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
経済		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	これまで、たくさんの経済危機が起こり、その都度、経済学者たちは新しい理論を打ち立て、それに基づいて経済政策が実施されてきました。ところが、また新たな危機にみまわれ……。さて、こんなことで、将来はいったいどうなるの？ と心配な方。まずは、お聞きください。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(金)	川崎市生涯学習プラザ	経済恐慌とは何か？ それは、どのようにして起こるのか？	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
2	4/20(金)		19世紀末大不況は、なぜ、深刻化したのか？	
3	5/11(金)		第一次世界大戦は、なぜ、起こったのか？—その経済的背景を考える	
4	5/18(金)		1920年代不況と1929年世界恐慌は、なぜ、起こったのか？	
5	5/25(金)		1930年代の深刻な不況に、各国は、いかに苦心したか？	
6	6/8(金)		第二次世界大戦は、なぜ、起こったのか？—その経済的背景を考える	
7	6/15(金)		ケインズ主義政策とは何だったのか？—その意味と限界を考える	
8	6/22(金)		石油危機、そして1970年代不況は、なぜ、起こったのか？	
9	6/29(金)		新自由主義政策とは何だったのか？—その意味と限界を考える	
10	7/6(金)		ソ連は、なぜ、崩壊したのか？—その74年間の苦労と限界を考える	
11	7/13(金)		最近の一連の金融危機—87年、97年、07年以後の危機—は、なぜ、起こったのか？	
12	7/20(金)		このままでは、史上空前の破局がやってくる？！—右傾化と自国中心主義の経済的背景を考える	

受講登録者数 143名 (男性 108名 女性 35名) 出席者総数 1,461名

後期

講座 29	<b>あのニュースの深層にもこんな経済問題が—世界各地の大きな出来事を背景から読み解く</b>			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円			
経済		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	新聞やテレビでなかなか説明がなされていないところまで踏みこんで解説します。また、断片的には知っていることでも、関連がよくわからないことなどを系統的に説明します。従来の常識では理解しがたいことが多発している今の時代を生きぬ力を養います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯学習プラザ	トランプ政権を支えてきた人たちの期待と、かれらへの反感と	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
2	10/5(金)		市民の反発が強まるヨーロッパ連合(EU)	
3	10/12(金)		イスラム国(IS) — その意外な強さの秘密を解きあかす	
4	10/19(金)		「一帯一路」で大変貌か？ — アフリカの最新事情	
5	10/26(金)		ロシア — その古くて新しい政治・経済問題	
6	11/9(金)		アメリカ中間選挙の結果を分析する	
7	11/16(金)		中国経済の隠された諸問題とシー・チャンピオン(習近平)	
8	11/30(金)		朝鮮半島をめぐる諸問題	
9	12/14(金)		やがて世界一の人口大国になろうとしているインドの経済は？	
10	12/21(金)		アメリカから見捨てられるのか？ — ラテンアメリカの最新事情	
11	1/18(金)		2018年の日本経済を振り返って	
12	1/25(金)		2019年の世界の政治と経済を展望する	

受講登録者数 158名 (男性 122名 女性 36名) 出席者総数 1,604名

前期

人工知能(AI)の開発と経済の近未来を考えてみませんか! ※討論・発表中心				
WS 12	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円			
	【ワークショップ】経済 【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回) 内容により18時まで延長する場合があります。			
概要	人工知能(AI)の開発は、最近のIoT(モノのインターネット)、フィンテック(情報技術を駆使した革新的金融サービス)などの技術革新をさらに推し進め、人々の仕事の内容を根本的に転換させていく可能性があります。第四次産業革命の中核となる人工知能の実態と意味について学び、近未来の日本経済に与える影響を考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(金)	川崎市生涯学習プラザ	はじめに/オリエンテーション	横浜国立大学名誉教授 金子文夫
2	4/20(金)		●人類と機械の対立の歴史と最近の話題 - AIは救いの神か? 根こそぎ雇用を奪うのか?	
3	5/11(金)		●AIはどこまで進化するのか? 何が可能で、何が不可能か? - 世界的な開発競争でどこまで進化するのか?	
4	5/18(金)		●AIが経済に与えるインパクト、産業革命の変遷 - インバネーション、経済成長、失業への影響は?	
5	5/25(金)		●第四次産業革命後の経済の姿の予測 - 経済の構造が根本的に変革する大分岐になるのか?	
6	6/8(金)		●大変革する経済に必要な制度とは? - 雇用を奪われた私たちが豊かに暮らす道はあるのか?	
7	6/15(金)			
8	6/22(金)			
9	6/29(金)			
10	7/6(金)			
11	7/13(金)			
12	7/20(金)		●テキストと講師のまとめ	

テキスト:「人工知能と経済の未来-2030年の雇用大崩壊」(井上智洋著、文春新書、¥800円+税)。  
ワークショップの流れはグループ毎にテキストの担当部分の概要等を発表、全体で討議するゼミ形式。  
受講登録者数 35名 (男性 28名 女性 7名) 出席者総数 372名

後期

情報技術革新の未来-仮想通貨/ブロックチェーン/分権型経済システム ※討議・発表中心				
WS 12	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円			
	【ワークショップ】経済 【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回) 内容により18時まで延長する場合があります。			
概要	情報技術の目覚ましい革新は近未来の経済と社会を大きく変えていきます。仮想通貨(ビットコインなど)の基盤にあるブロックチェーン技術は、金融の世界だけでなく、より広い分野に応用され、管理者のいない分散自律型経済システムを作り出す可能性があります。このような技術革新の最前線について、基本から学んでいきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習の解説/先生のオリエンテーション	横浜国立大学名誉教授 金子文夫
2	10/5(金)		仮想通貨とは何か? フィンテックとは何か?	
3	10/12(金)		仮想通貨はどこまで広がるのか? 実際に使うには?	
4	10/19(金)		メガバンクや中央銀行が、仮想通貨を検討している	
5	10/26(金)		情報技術の革新-ブロックチェーン(集中管理と分散管理)	
6	11/9(金)		革新の重要性-インターネットでの価値の送付と信頼の確立	
7	11/16(金)		ブロックチェーン-金融だけでなく応用分野	
8	11/30(金)		シェアリングエコノミーとは何か? 成長の方向	
9	12/14(金)		IoTとは何か? その課題とブロックチェーン	
10	12/21(金)		ブロックチェーン革命の本質①-組織を変える	
11	1/18(金)		ブロックチェーン革命の本質②-社会を変える	
12	1/25(金)		まとめ/先生のコメント	

テキスト:「入門 ビットコインとブロックチェーン」(野口悠紀雄著、PHPビジネス新書、¥890円+税)。  
グループ毎にテキストの担当部分の概要等を発表、全体で討議するゼミ形式。  
受講登録者数 38名 (男性 30名 女性 8名) 出席者総数 404名

前期

懐かしの名作を語る-「私が愛した番組」「メディアジャーナリストのメッセージ」「映画を語る」				
講座 30	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	映像・メディア 【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)			
概要	2018年前期は、(1)「私が愛した番組」(2)「メディアジャーナリストのメッセージ」(3)「映画を語る」各4本で構成します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/20(金)	川崎市生涯学習プラザ	私が愛した番組 「ためしてガッテン」:人気の長寿番組の担当プロデューサー、ディレクターが、苦労話も含めて語ります。	NHK科学環境番組部 チーフプロデューサー 齊藤 潤
2	4/27(金)		「民放初の本格的ドキュメンタリスト・牛山純一」:「ノンフィクション劇場」の創設者、故牛山純一氏を身近に見てきた長男が語ります。	NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー 牛山徹也
3	5/11(金)		「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」:「引退~長嶋茂雄のラストシーズン~」等の名作を基に、担当プロデューサーが語ります。	NHKエデュケーショナル シニアプロデューサー 久保健一
4	5/18(金)		NHK特集「あの時世界は」と北朝鮮問題:大型N特で核開発問題を多数制作してきた安間氏が、激動する世界の現状をどう読み解くかを語ります。	東京工科大学名誉教授、元NHKプロデューサー 安間 総介
5	5/25(金)		「日本と日本人の覚悟」:TBS「ロードキャスター」などに出演し、著書も多い篤氏に保守化する日本について語ってもらいます。	ジャーナリスト 篤 信彦
6	6/1(金)		「NHKの歴史番組を語る」:「歴史への招待」や「昭和史」などを企画・制作した大物プロデューサーが歴史番組の変遷を語ると共に、そのおもしろさをジャーナリスティックな側面から見てくる日本を語ります。	歴史ジャーナリスト、元NHKスペシャル番組 部部長 北山 章之助
7	6/8(金)		「ニュース映像に見る虚像と実情~ジャーナリズムに潜むプロパガンダの危険性~」:貴重な映像収集、整理に取り組み30年。その成果の一つとして、戦前と戦後のニュース映像の比較を通して、ジャーナリズムに潜むプロパガンダの危険性を語ります。	映像・ジャーナリスト 濱崎好治
8	6/15(金)		「メガ映像イベントと地方創生」:NHK横浜のフリーANから、現在NEPの特別主幹として活躍する菅山氏が映像が人を動かす力について語ります。	NHKエンタープライズ 特別主幹 菅山明美
9	6/22(金)		名作「ゆきききて神軍」で有名な原一男監督が、最新作「ニッポン国VS泉南石綿村」を語ります。	映画監督 原 一男
10	7/6(金)		「成人映画・ドキュメンタリー」を語る:日大(芸)卒業、TV、岩波映画を経て成人映画監督、TVで平塚報道後、現在、ドキュメンタリー映画「マガガスカルの口蓋裂問題」を制作中。	映画評論家、映画監督 山本晋也
11	7/13(金)		「巨匠・黒澤明監督」を語る:BBCとの国際共同制作で「クロサワ」を制作統括。邦画三大巨匠の一人、黒澤明監督を語ります。	映画評論家、元NHK映画支配人 渡辺俊雄
12	7/20(金)		「巨匠・溝口健二監督」を語る:NHKで「日本劇映画百年~名シーンで綴る一世紀~」を制作統括。溝口健二監督の「雨月物語」を語ります。	映画「いのち」監督、元NHKプロデューサー 林 勝彦

受講登録者数 72名 (男性 54名 女性 18名) 出席者総数 694名

後期

懐かしの名作を語る				
講座 30	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円			
	映像・メディア 【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)			
概要	さまざまなメディアで活躍する人たちが「この人に会いたい」、「著名ジャーナリストのメッセージ」、「名画を語る」の3つのテーマで語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(金)	川崎市生涯学習プラザ	この人に会いたい 「ターウィンが来た!」を語る。 人気番組担当者が、撮影秘話などを語ります。	NHK科学・環境番組部 チーフプロデューサー 菊池哲理
2	10/5(金)		連続テレビ小説「半分、青い。」を語る。 視聴率が高い看板番組の舞台裏を語ります。	NHKドラマ部 チーフプロデューサー 勝田夏子
3	10/12(金)		「ピハインド・ザ・コーブ~捕鯨問題の謎に迫る」を語る。 ロンドンでのコンペで最優秀監督賞を受賞した八木氏が語ります。	ドキュメンタリー映画監督 八木景子
4	10/19(金)		「心を動かす言葉」を語る。 「朗読の加賀美」といわれて、現在フリーの名アナウンサーが語ります。	フリーアナウンサー/元NHKアナウンサー(理事待遇) 加賀美 幸子
5	10/26(金)		「報道の現場」から世界を語る。 TBSのアメリカ総局長、モスクワ支局長などの歴任者が語ります。	国際ジャーナリスト 金平茂紀
6	11/9(金)		今、語りたい「旬の話」。 鳥越氏は記者やサンデー毎日の編集長を歴任し、日本記者クラブ賞を受賞しています。	ニュースの職人/ジャーナリスト 鳥越 俊太郎
7	11/16(金)		「報道の自由・放送法」を語る。NHK記者時代、「埋もれた報告」で芸術祭大賞を受賞した大治氏が語ります。	NPO「マスコミ市民」理事長 大治 浩之輔
8	11/30(金)		「イラク戦争と自衛隊」を語る。 ロカル/国際映画祭や、ボーン・上田賞等を受賞した綿井氏が語ります。	フリージャーナリスト/映画監督 綿井健陽
9	12/14(金)		「W・ワイラー監督・作品」を語る。 「ローマの休日」「ベンハー」等で、アカデミー監督賞を3回受賞した名監督を語ります。	ドキュメント映画「いのち」監督 元NHKプロデューサー 林 勝彦
10	12/21(金)		「A・セッチコック監督作品」を語る。 「サスペンスの神様」と言われた監督を、名作「サイコ」などを通して語ります。	映画の語り部 元NHKBS映画支配人 渡辺俊雄
11	1/18(金)		「成瀬巳喜男監督・作品」を語る。 成瀬監督は、黒澤明、溝口健二、小津安二郎に加え、邦画4大監督の一人です。	ドキュメント映画「いのち」監督 元NHKプロデューサー 林 勝彦
12	1/25(金)		「今村昌平監督・作品」を語る。 今村監督は、「楢山節考」「うなぎ」で、カンヌ国際映画祭の最高賞を受賞しています。	

受講登録者数 72名 (男性 50名 女性 22名) 出席者総数 694名

前期

WS 13		生命のしくみ、細胞から体と心の健康を考える ※実験あり				
【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円						
【ワークショップ】科学 【時間】座学(金曜日・15時00分～17時00分(7回)) 実験(火、水、木曜日・10時00分～最長16時00分 2回分x2.5) (計12回)						
概要 健康の問題について、細胞の生物学という観点からお話しします。細胞の老化や免疫の原理とその疾患について、また、細胞にとって必要な脂質の働きとその異常な状態が体と心の健康にどのような影響を与えるかについて解説します。さらに、細胞に含まれるDNAの中から一部だけを取り出して、大腸菌の中で増やす実験を行います。						
回	月/日(曜)	会場	時間	学習内容	講師名(敬称略)	
1	5/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	15:00 ～ 17:00	コラーゲンとヒアルロン酸の働きは?	お茶の水女子大学准教授 宮本泰則	
2	5/18(金)			老化と若返りを細胞から考える		
3	5/25(金)			免疫とアレルギーを考えてみる		
4	6/8(金)			体にとって必要な油とは? 脂質栄養の基礎を学ぶ	お茶の水女子大学教授 小林哲幸	
5	6/15(金)			えごま油や魚油はどのように健康に役立つか		
6	6/22(金)			心の健康と油の関係を考える		
7	7/13(金)					元放送大学客員教授 室伏 擴
8 ~ 12	7/24(火)	お茶の水女子大学	10:00~14:00	実験(5回分) DNAクローニングをやってみよう	A班実施・B班休み	
	7/25(水)		14:00~16:00			
	7/26(木)		10:00~15:00			
8 ~ 12	7/31(火)		10:00~14:00	実験(5回分) DNAクローニングをやってみよう	B班実施・A班休み	元放送大学客員教授 室伏 擴
	8/1(水)		14:00~16:00			
	8/2(木)		10:00~15:00			

受講登録者数 23名 (男性 11名 女性 12名) 出席者総数 229名

後期

WS 13		生命のしくみ、生物の複雑性と多様性の獲得について ※実験あり				
【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円						
【ワークショップ】科学 【時間】座学15時00分～17時00分(7回) 実験10時00分～14時00分(5回分) (計12回)						
概要 地球上に生命が誕生してから約40億年の間に、極めて多様な生物が生まれ、その多くは非常に複雑な体を持つようになりました。1つの受精卵からどのようにして複雑な体が作られるか、また、生物はどのようにして多様性を獲得してきたかを環境と関連づけお話しします。さらに生物の最も複雑なシステムである脳神経系の働きについて説明し、高齢化社会における最大の課題のひとつであるアルツハイマー病の発症メカニズムについてもお話しします。また、大腸菌によるヒトタンパク質の発現と、生産物の分析に関する実験を行います。						
回	月/日(曜)	会場	時間	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/28(金)	川崎市生涯学習プラザ	15:00 ～17:00	生命誕生と真核生物誕生	お茶の水女子大学教授 服田 昌之	
2	10/5(金)			多様な動物のボディプランの基本型		
3	10/19(金)			神経の起源と複雑化		
4	10/26(金)			動物の環境応答		
5	11/9(金)			人類進化の道のり	元放送大学教授 室伏 擴	
6	11/16(金)			神経細胞の働き		
7	11/30(金)			アルツハイマー病		
8 ~ 12	12/18(火)	お茶の水女子大学	10:00 ～14:00	大腸菌によるヒトタンパク質の発現と生産物の分析	A班実施・B班休み	
	12/19(水)					
	12/20(木)					
12	2/13(水)		10:00 ～14:00	大腸菌によるヒトタンパク質の発現と生産物の分析	A班休み・B班実施	元放送大学教授 室伏 擴
	2/14(水)					
	2/15(木)					

受講登録者数 20名 (男性 14名 女性 6名) 出席者総数 203名

前期

講座 31		いま問い直す、地域再発見 1		
【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円				
歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要 埋れた真実や見直しが必要な事実が地域にはあります。今は、そうした事実を掘り起し、あるいは再評価する時期にあります。研究途上や最新の研究内容によって地域を再発見する企画です。地域の歴史を掘り起す手法を学ぶことにつながるでしょう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(土)	川崎市生涯学習プラザ	民俗から探る郷土川崎	日本民俗学会会員 高橋典子
2	4/21(土)		大森貝塚とモース —「お雇い外国人」学者による科学的発掘	日本考古学協会会員 加藤 緑
3	5/12(土)	現地見学	品川区立品川歴史館、国史跡大森貝塚遺跡公園	日本考古学協会会員 加藤 緑 日本考古学協会会員 村田文夫
4	5/19(土)	川崎市生涯学習プラザ	南加瀬・三ツ沢貝塚などとモノロー —考古学者・医者として	神奈川県考古学会副会長 中村若枝
5	5/26(土)		世田谷吉良氏と川崎市域	立教大学兼任講師 谷口雄太
6	6/9(土)	現地見学	吉良氏ゆかりの世田谷を歩く—世田谷城・豪徳寺・代官屋敷	戦国史研究会会員 中西望介
7	6/16(土)	川崎市生涯学習プラザ	王禅寺と地域住民のつながり—王禅寺雑記を読み解く	國學院大学栃木短期大学准教授 菱沼一憲
8	6/23(土)		田中丘陵と民間省要—民間省要成立の背景	立正大学講師 齊藤 司
9	6/30(土)		時習学館—小田中にあった私立中学校	明治大学講師 渡辺賢二
10	7/7(土)	現地見学	維新動乱の上野を歩く—上野戦争150年の節目に	京浜歴史科学研究会会員 大湖賢一
11	7/14(土)	川崎市生涯学習プラザ	『民衆』が躍動した時代—大正デモクラシー	明治大学講師 渡辺賢二
12	7/21(土)		帝銀事件と登戸研究所	明治大学教授 山田 朗

※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。 受講登録者数 52名 (男性 35名 女性 17名) 出席者総数 532名

後期

講座 31		いま問い直す、地域再発見 II		
【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円				
歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回) 但し、初回(10/6)と最終回(1/26)は10時00分～12時00分				
概要 研究途上や最新の研究内容によって、地域を再発見する企画です。歴史の変動期に地域住民は何を学び、どの様に行動したのでしょうか。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(土)	川崎市生涯学習プラザ	古代遺跡からみた麻生区	日本考古学協会会員 村田文夫
2	10/13(土)	現地見学	歴史と民俗を歩く—岡上を中心に	成城大学名誉教授 田中宣一 戦国史研究会会員 中西望介
3	10/20(土)	川崎市生涯学習プラザ	北部農村岡上にみる江戸時代～近代の農村社会の助け合い	成城大学名誉教授 田中宣一
4	10/27(土)		川崎を訪れた高野山僧侶からみた江戸後期の村々	都筑・橋樹地域研究会会員 小股 昭
5	11/10(土)		検地帳からみた戦国末・近世初頭の村と住民	成蹊大学名誉教授 池上裕子
6	11/17(土)	現地見学	多摩川改修100年—アミガサ事件と有吉堤、多摩川直轄改修への道を歩く	国土交通省国土技術政策総合研究所主任指導官 和田一範
7	11/24(土)	川崎市生涯学習プラザ	江戸幕府財政再建の奇策と住民	地域史研究者 博士(歴史) 久世辰男
8	12/1(土)	現地見学	密教の大寺王禅寺と神社合祀を拒んだ王禅寺村を歩く	戦国史研究会会員 中西望介
9	12/8(土)		村の神々の明治維新—神社の合祀と地域住民	
10	12/15(土)	川崎市生涯学習プラザ	焼け跡からの復興—窮乏から再建へ	明治大学講師 渡辺賢二
11	1/19(土)		川崎市における多文化共生の動き	元川崎市平和人権教育担当 山崎信喜
12	1/26(土)		まとめ。3人の講師をまじえて川崎市域の歴史を深める	田中宣一・中西望介・渡辺賢二

※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。 受講登録者数 53名 (男性 36名 女性 17名) 出席者総数 500名

前期

101	<b>源氏物語の世界を語る</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 ※資料代 100円を含みます。			
短期集中		【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	第1回は、この物語が司馬遷の『史記』を参考にして、スケールの大きな宮廷叙事詩を描き出していることについてお話しします。第2回は光源氏と藤壺の恋について、第3回は光源氏と玉鬘の恋について——いずれも道ならぬ恋ですが、やみがい思いの深さを見据える作者のまなざしはあくまでもまじめなものであり、この物語の人間観察のこまやかさがよくあらわれています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/10(木)	新百合 21ビルB2 多目的 ホール	源氏物語と史記—人間社会をいかに描くか	武蔵野大学特任教授 藤原克己
2	5/24(木)		光源氏と藤壺の恋—青年の恋	
3	5/31(木)		光源氏と玉鬘の恋—中年の恋	

受講登録者数 79名 (男性 24名 女性 55名) 延べ人数 194人

102	<b>日本の野党</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 ※資料代 100円を含みます。			
短期集中		【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	現在の日本政治の閉塞状況は誰もが認めるところだろう。その端的な現れは、巨大与党の“専横”に対して、これに有効なチェックを加え、それにとって代われそうな野党が存在しないことだと言われる。この問題を現況に焦点を合わせつつ、戦後史を通して考えてみよう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	7/12(木)	新百合 21ビルB2 多目的 ホール	戦後政治の中の日本社会党—55年体制の成立から村山政権まで—	法政大学教授 山口二郎
2	7/19(木)		二大政党制形成の失敗?—民主党結成から民進党の分裂まで—	一橋大学教授 中北浩爾
3	7/26(木)		いま野党は何ができるか、何をすべきか	法政大学教授 山口二郎

受講登録者数 83名 (男性 56名 女性 27名) 延べ人数 218人

後期

101	<b>カズオ・イシグロへの招待</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 ※資料代 100円を含みます。			
短期集中		【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	日本の長崎に生まれ、イギリスで成長したカズオ・イシグロ。その作品は翻訳によって文化を越え、『日の名残り』『私を離さないで』などの映像でも知られています。終戦後の日本、イギリスの伝統社会など舞台の異なる作品群は、それぞれが読者を人生、感情、記憶の深層へ、また独自の世界観へと導きます。長らくイシグロ作品を追ってきた長崎出身の英文学者、作品の多くを手掛けている翻訳家を講師にお迎えし、ノーベル賞作家カズオ・イシグロの魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(木)	新百合 21ビルB2 多目的 ホール	イシグロの日本、そして長崎	昭和女子大学名誉教授 平井杏子
2	10/11(木)		カズオ・イシグロと翻訳	翻訳家 土屋政雄
3	10/18(木)		作品論を読む『日の名残り』	昭和女子大学名誉教授 平井杏子

受講登録者数 94名 (男性 21名 女性 73名) 延べ人数 232名

102	<b>世界の北斎～その作品と魅力～</b>			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 ※資料代 100円を含みます。			
短期集中		【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	アメリカの雑誌『ライフ』の「この千年に偉大な業績をあげた100人」に日本人としてただ一人挙げられたのが、浮世絵師の葛飾北斎です。一昨年開館した「すみだ北斎美術館」をはじめ、世界や日本各地で北斎展が開かれ、また NHK 特集ドラマ「眩(くら)～北斎の娘から」も話題となりました。また、2015年に杉浦日向子の漫画『百日紅』をもとにしたアニメ映画『百日紅 ～Miss HOKUSAI～』が公開されました。こうした世界に話題となった北斎について、その奇異な行動や人生、世界に知られた「富嶽三十六景」や『北斎漫画』などの作品、西洋のジャポニスムに与えた影響について紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	12/13(木)	新百合 21 ビルB2 多目的 ホール	世界の北斎～その人生と作品	すみだ北斎美術館主任学芸員 奥田敦子
2	12/20(木)		『北斎漫画』の魅力	浦上蒼穹堂主人・北斎漫画コレクター 浦上 満
3	1/24(木)		北斎とジャポニスム	日本女子大学名誉教授 及川 茂

受講登録者数 101名 (男性 47名 女性 54名) 延べ人数 244名

交流館協力講座 後期

201	<b>明治維新の群像 —人物でたどる明治維新の諸相</b>			
	【定員】70名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 ※資料代 100円を含みます。			
交流館協力		【時間】毎回 13時30分～15時00分 (計3回)		
概要	明治維新时期に活躍した人びとを中心に、この時期の政治・社会・外交・文化の諸相を紹介します。第1回では、江戸開城における幕末の三舟(勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟)の活動をはじめ、その後、政治や地域振興などの分野で活躍した旧幕臣を取り上げます。第2回では、岩倉使節団に注目して、使節団派遣の目的、使節団の西洋体験、留学生の帰国後の活躍などを取り上げます。第3回では、文明開化における散髪脱刀令、洋服・洋食の導入などの諸相をもとに、西洋化の風潮のなかで起こった当時の人びとのエピソードを紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(水)	東海道 かわさき宿 交流館	江戸開城とその後の幕臣の生き方	徳川林政史研究所研究員 藤田英昭
2	10/10(水)		岩倉使節団の西洋体験	日本大学准教授 刑部芳則
3	10/24(水)		文明開化の諸相	

受講登録者数 64名 (男性 51名 女性 13名) 延べ人数 179名

本講座の運営には、東京応化科学技術振興財団の「研究交流促進助成」の一部が使用されました。

子育て支援講座 後期

202	<b>小学生から思春期「子どもに時間を返そう」—子どもは自ら考え学び自分を作る力をもっている</b>			
	【定員】50名 【受講料】4,860円 保育ボランティア付き1回につき200円(要事前申込)			
子育て支援		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計6回)		
概要	義務教育が始まると子どもは急に忙しくなります。学校、塾、部活、宿題、受験などで「子どもの自由時間」は削られ学校中心の生活と教育は、評価、競争、管理でがんじがらめ。心と頭を解放する「あそびの時間」が失われます。そのストレスがいじめを生み、不登校や自殺を招く場合があります。子どもたちが人間らしく豊かに成長するために何が大切か考えましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名
1	10/4(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「学校は今 どんどころになっているの? 学校の内側からみた子どもと先生の実態を聞く	こどものからだところBOOK「お・は」編集人 小学校教員 岡崎 勝
2	10/18(木)		子どもは「あそび」を通して心と頭を解放する 子どもの感受性と知的好奇心は遊びによって培われ、心の傷も修復する	川崎市子ども夢パーク フリースペースえん代表 西野博之
3	10/25(木)		夏休み明けは登校しぶり 不登校が本格化する時期 親はどう受けとめどう対応したらいいのでしょうか?	子ども相談室「モモの部屋」 心理カウンセラー 内田 良子
4	11/8(木)		思春期は親から子どもの実像が見えなくなる時期 わが子が死んだ後に知る子どもの学校生活を聞く。 ①バレエ部の合宿中に死亡 ②生徒指導の後に自死	「エンジェルズアーチ」草野 とも子 一般社団法人ここから未来 代表理事 大貫隆志 心理カウンセラー 内田 良子
5	11/15(木)		子どもを分けないインクルーシブ教育は世界の潮流 共に生きる社会は共に学ぶ教室から生まれる	大阪経済法科大学客員研究員 一木 玲子
6	11/29(木)		子どもが社会の現実を読みとく父親の存在 多様な家族と家庭のありようを考える	首都大学東京教授 宮台真司

受講登録者数 53名 (男性 3名 女性 50名) 延べ人数 312名

本講座の運営には、東京応化科学技術振興財団の「研究交流促進助成」の一部が使用されました。

※上記2講座は後期から開講しました。



前期

301	<b>素晴らしい舞台芸術 イタリア・オペラをもっと知る Vol.2 ～そしてオペラの幕は上がる～</b>			
	【定員】150名		【受講料】7,560円	
大学連携 【時間】毎回 11時00分～12時30分 (計6回)				
概要	イタリアで大衆化したオペラはやがて国境や海を越え、19世紀には「オペラ産業」と呼ばれる大きなマーケットが世界規模で実現されました。劇場、台本作家、作曲家、歌手、オーケストラ、舞台美術家、演出家など多様な人々がかかわるオペラ公演のあり方は、ほぼ19世紀にそのモデルが出来上がっています。この講座では華やかな舞台の幕が上がる前の人々の仕事を、歴史的観点から振り返ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/9(水)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サレー・スカラ	19世紀のオペラの現場① 劇場運営とシーズンの仕組み	昭和音楽大学教授 小畑恒夫(オペラ史)
2	5/23(水)		19世紀のオペラの現場② ロッシーニ、ドニゼッティ、ヴェルディたちの活動	
3	6/6(水)		オペラ作品の本質を捉える① 台本の作られ方～イタリア詩作法	昭和音楽大学講師 森田 学(音楽作劇法研究)
4	6/20(水)		オペラ作品の本質を捉える② 番号オペラのしくみ～ソリタ・フォルマ	
5	7/4(水)		歌う!!① 歌うために必要なことは	昭和音楽大学講師 廣田美穂(声楽)
6	7/18(水)		歌う!!② 時代とともに変遷した歌唱法 ピアノ：石渡洸貴	

\* 案内：昭和音楽大学オペラ公演 2018 (10月開催予定) の優待  
受講登録者数 101名 (男性 45名 女性 56名) 延べ人数 518名

後期

301	<b>没後 150 年 いまロッシーニが面白い</b>			
	【定員】150名		【受講料】7,560円	
大学連携 【時間】毎回 11時00分～12時30分 (計6回)				
概要	つい最近まで、「セビリアの理髪師」だけの気楽な作曲家とされていたロッシーニですが、20世紀末に始まったロッシーニ・ルネッサンスによってその評価は大きく変わりました。没後150年を記念し、本講座ではまずロッシーニの生涯と作品を概観し、次いでその再評価の過程とそれが現代のオペラ界に与えている影響、さらにロッシーニ歌唱の独自性と楽しみ方を明らかにします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(水)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サレー・スカラ	生涯と音楽(1) ～デビューからナポリ時代	昭和音楽大学教授(オペラ史) 小畑恒夫
2	10/10(水)		生涯と音楽(2) ～パリ時代以後 虚像と実像	
3	10/24(水)		ロッシーニ復活! ～作品の発見と上演の拡大	昭和音楽大学教授(舞台芸術政策論) 石田麻子
4	11/14(水)		世界の劇場地図が変わる ～ロッシーニ上演から見たマネジメントの現場	
5	12/19(水)		ロッシーニとの出会い ～あるバリトン歌手の私的ロッシーニ論 ピアノ：室井 撰	昭和音楽大学准教授(声楽) 柴山昌宣
6	1/16(水)		アリアと歌曲 ～ロッシーニ歌唱の特色と魅力 ソプラノ：下倉結衣、ピアノ：室井 撰	

\* 講座受講者には昭和音楽大学オペラ公演 2018「ファルスタッフ」(10/6(土)、10/7(日))のチケットを優待販売。  
受講登録者数 80名 (男性 33名 女性 47名) 延べ人数 397名

前期一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
A	健康	『健康寿命』を伸ばす最新医学 —人生の最後まで健やかに過ごそう!	聖マリアンナ医科大学教授 田中 逸ほか
B	福祉	傾聴ボランティア講座	NPO 法人ホールファミリーケア協会事務局長 山田 豊吉
C	生活	新たなセカンドライフの創造 その2	東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫ほか
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その16	市内企業の代表と研究者ほか
E	教育	やれるだけやろう、思春期の子育て	英国認定カウンセラー 前田 節子ほか

A	<b>『健康寿命』を伸ばす最新医学—人生の最後まで健やかに過ごそう!</b>			
	【定員】70名		【受講料】4,110円	
健康 【時間】毎回 14時00分～15時30分 (計5回)				
概要	日本人の平均寿命は歴代最高の世界第2位を昨年更新しました。一方で、健康上の問題がなく、生活できる期間を意味する「健康寿命」と平均寿命には未だに隔たりがあります。医学の分野ではこの差を縮め、『健康寿命』も伸ばすべく日夜研究が進んでいます。本講座では老化を防止する最新医学や栄養学、また、細胞レベルの老化の成り立ちから疾患との関連等を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/5(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	中高年の健康増進を目指す食事の在り方 —野菜と全粒穀物の驚くべき効果	聖マリアンナ医科大学内科学(代謝・内分泌内科) 教授 田中 逸
2	6/12(火)		健康長寿を目指す食生活の基礎知識	聖マリアンナ医科大学病院栄養部 副部長 柴田みち
3	6/19(火)		腸内細菌から考える効率的な健康管理	聖マリアンナ医科大学免疫学・病害動物学 准教授 清水 潤
4	6/26(火)		細胞寿命・老化の発生機序と疾患との関連	聖マリアンナ医科大学難治性疾患病態制御学 大学院教授 遊道和雄
5	7/3(火)		健康長寿と漢方の役割	聖マリアンナ医科大学内科学(総合診療内科) 教授 松田隆秀

受講登録者数 70名 (男性 32名 女性 38名) 延べ人数 292名

C	<b>新たなセカンドライフの創造 その2</b>			
	【定員】50名		【受講料】4,110円	
生活 【時間】毎回 10時00分～11時30分 (計5回)				
概要	高齢期におけるセカンドライフの創造に向けて、自分らしい生き方を通して生涯現役を貫き、地域の課題解決に貢献できる活動・働き～生きがい就労～をする上で役に立つ具体的な事例が学べる講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/17(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	人生100年時代、プロダクティブ・エイジング(生涯現役)に必要な多世代協働の秘訣を学ぶ	一般社団法人 シニア社会学会 企画委員 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科修了 中村昌子
2	5/24(木)		おかげさま・お互いさまのまちづくり・地域の支え合いの場、地域包括ケアサロン「みぬまハウス」の活動事例を紹介	生きがい彩の会・NPO法人みぬまで暮らし会 長谷川 幹夫
3	5/31(木)		高齢者の健康寿命延伸「フレイル(筋力、認知機能、社会との繋がりが低下した状態・虚弱)の予防」の活動事例を紹介	一般社団法人 神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会 健康生きがいづくりアドバイザー・看護師 堀 和子
4	6/14(木)		高齢者の高まる就労ニーズに対する就労環境と新しい就労タイプの「生きがい就労」について学ぶ	元群馬医療福祉大学大学院教授 一般財団法人 健康・生きがい開発財団評議員 吉田隆幸 キャリアコンサルタント 中村康雄
5	6/21(木)		超高齢社会の展望とセカンドライフの創造・生涯現役を貫くサクセスフル・エイジング(より良く生きる)の実現をめざして	東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫

受講登録者数 36名 (男性 21名 女性 15名) 延べ人数 138名

E	<b>やれるだけやろう、思春期の子育て</b>			
	【定員】70名		【受講料】4,860円	
教育 【時間】毎回 10時00分～12時00分 (計5回)				
概要	2017年度後期講座「後悔しない、6歳からの子育て」の続編になります。この生きづらい時代に疲弊していく子どもたち。思春期の頃の子どもに、どのように向き合っていけばよいか。親として最低限できることは何でしょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/11(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	知っておくと楽になる～子どもに通じるコミュニケーション	UKRCP 英国認定カウンセラー(国家資格) 前田節子
2	5/25(金)		思春期のメンタルの鍛え方～アスリートのメンタルトレーニングから学ぶ	(株)メンタリスト メンタルトレーニングコーチ 望月康宏
3	6/8(金)		知っておきたい自分のこと～更年期前後の心と体のこと	助産師・チャイルドファミリーコンサルタント・パーソセラピスト やまがた てるえ
4	6/22(金)		これって犯罪ですか? 増え続けるネットをめぐる少年非行～非行防止、犯罪被害防止のために家庭でできること	神奈川県警中原警察署 生活安全課防犯・少年係 スクールサポーター 小川照夫
5	7/13(金)		ネット社会の子どもの生きづらさ～飲み込まれずに主体的に生きる術	筑波大学 人文社会系 教授 土井隆義

受講登録者数 17名 (男性 1名 女性 16名) 延べ人数 63名

△▼△ 2018 年度前期 地域協働講座日程表 △▼△

傾聴ボランティア講座					
B	【定員】40名		【受講料】9,720円		
	福祉		【時間】毎回13時00分～17時00分(計10回)		
概要	傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。傾聴は、人間関係の基本です。				
回	月/日(曜)	時間	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/9(水)	13:00～15:00	川崎市生涯学習プラザ	(講義)よい聴き手になるために～傾聴の意味と意義～	NPO 法人ホールファミリーケア協会 事務局長 山田豊吉
2		15:00～17:00		(演習)初めての出会い、「傾聴モードで聴く」・・・話す喜び、聴く喜び	
3	5/16(水)	13:00～15:00		(RP)ロールプレイとは、傾聴のスキル「繰り返し」と「質問」	
4		15:00～17:00		(RP)傾聴のスキル「繰り返し」と「質問」を使って、ロールプレイ実習	
5	5/23(水)	13:00～15:00		(RP)傾聴のスキル「共感的な励まし・支持」を使って、ロールプレイ実習	
6		15:00～17:00		(RP)実践に向けて総合練習 ①「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
7	6/6(水)	13:00～15:00		(RP)実践に向けて総合練習 ②「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
8		15:00～17:00		(講義&RP)認知症高齢者への関わり方及びロールプレイ実習	
9	6/13(水)	13:00～15:00		(講義)傾聴ボランティア活動の仕方(個人宅&各種の高齢者施設等)	
10		15:00～17:00		先輩の傾聴ボランティアの方のお話	

受講登録者数 24名(男性 5名 女性 19名) 延べ人数 199名

地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その16					
D	【定員】70名		【受講料】8,220円		
	企業連携		【時間】座学 13時30分～15時00分 現地2回の開始 / 終了時間は例外あり (計10回)		
概要	川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	光で世界は進化する：通信、加工、そして視覚障害者支援 －見えにくいをなくしたい。あるレーザ会社の挑戦の軌跡	(株) QDレーザ 業務推進室 室長 宮内洋宣	
2	4/26(木)	多摩区(生田)	市内で急速に増えてきた画期的なアスパラガスの新栽培法 「採りつき栽培®」－生田キャンパス農場見学と収穫体験	明治大学 農学部准教授 元木 悟	
3	5/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	社会貢献とビジネスの融合を目指して －エネルギーを通して人々をつなぐまちづくり	(株) 太陽住建 会長 河原英信	
4	5/24(木)		ロボット競技会を支援する金属加工のプロ集団	(株) 日の出製作所 代表取締役社長 岩 武志	
5	5/31(木)	川崎区(日進町)	100年後の街づくり －住みたい・遊びたい・働きたい街のつくり方	(株) NENGO 代表取締役社長 嶋崎敏行	
6	6/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	幸福度の高い国 デンマークのライフスタイルデザイン いい家具をリペア －FRITZ HANSEN 社のオフィシャルリペアパートナー	(株) キルト工芸 リペア、海外事業部部長 森下雄司	
7	6/14(木)		「すごい素材」で暮らしを支える化学会社 －紙おむつ、洗剤、スマートフォン、医薬品など	(株) 日本触媒 川崎製造所 総務課長 加藤充男	
8	6/21(木)		神奈川・川崎の銘菓「大師巻」を生んだ堂本製菓 －味一筋、創業108年老舗の歩み	堂本製菓(株) 代表取締役 堂本典子 副社長 堂本正也	
9	7/5(木)		塩を電解して暮らしの中に活用する －イオン交換膜を学ぶ	旭化成(株) 交換膜技術開発部 部長 蜂谷敏徳	
10	7/12(木)		IoT デバイスとしての「ネットワークカメラ」の広がる可能性 －映像に含まれる「ユーザー価値」の見える化	キヤノン(株) NVS 事業推進本部 NVS 事業統括センター 主席 石田真一	

受講登録者数 62名(男性 51名 女性 11名) 延べ人数 556名

△▼△ 2018 年度後期 地域協働講座一覧 および 講座日程表 △▼△

後期一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
A	教育	発達障がい理解する一幼児期から学齢期までの子どもへの理解と支援	早稲田大学大学院教職研究科教授 高橋 あつ子ほか
B	健康	老化を遅らせる最新医学－百歳まで生きる	聖マリアナ医科大学病院副院長 峯下 昌道ほか
C	生活	新たなセカンドライフの創造 その3	東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員 木村清一ほか
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その17	市内企業の代表と研究者ほか
E	福祉	最後まで自分らしく! 「いきかた」は自分で決める	終活ジャーナリスト/ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子稚子

発達障がいを理解する一幼児期から学齢期までの子どもへの理解と支援					
A	【定員】70名		【受講料】4,860円 保育ボランティア付き 1回につき200円(要事前申込)		
	教育		【時間】毎回10時00分～12時00分(計5回)		
概要	発達障がいについて理解をするための講座です。今回は幼児期から学齢期(小学生)の子どもをめぐる発達障がいの基礎知識、当事者や家族が抱える困難について学び、発達障がいへの理解を深め、子どもの支え方について考えます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/22(月)	川崎市生涯学習プラザ	発達障がいについて理解する－医療の分野から	児童精神科医 木村一優	
2	10/29(月)		子どもの気持ち・行動を理解する－疑似体験ワークショップ	早稲田大学大学院教職研究科教授 高橋 あつ子	
3	11/12(月)		発達障がいの子どもと歩む－子育て経験、子どものための環境づくり	日本発達障害ネットワーク 事務局長 橋口 亜希子	
4	11/26(月)		川崎市の教育施策と支援の状況	川崎市総合教育センター 特別支援教育センター 指導主事 中村 めぐみ	
5	12/10(月)		身近なところでもできる子どもへの支援/まとめ質疑応答	早稲田大学大学院教職研究科教授 高橋 あつ子	

託児サービスあり。(保育対象：1歳以上の子ども 6名)

受講登録者数 64名(男性 4名 女性 60名) 延べ人数 272名

老化を遅らせる最新医学－百歳まで生きる					
B	【定員】70名		【受講料】4,110円		
	健康		【時間】毎回14時00分～15時30分(計5回)		
概要	老化を遅らせるために加齢という生物学的なプロセスに介入する抗加齢医学(アンチエイジング医学)が近年注目を集めています。本講座では人体の主要な臓器における、加齢による様々な疾患やそれらを予防する最新医学や治療を学びます。老化を早める動脈硬化の予防やがんのような加齢関連疾患をどのようにして発症させないか等専門家が詳しく解説します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	11/6(火)	川崎市生涯学習プラザ	呼吸器の老化と肺炎・肺がん・COPD 予防と治療	聖マリアナ医科大学/大学病院 副院長/内科学(呼吸器内科) 教授 峯下昌道	
2	11/13(火)		心臓と血管の老化と関連疾患の予防 -人は血管とともに老いる	聖マリアナ医科大学 東横病院 心臓病センター センター長/講師 田中 修	
3	11/20(火)		脳卒中の最新治療と予防	聖マリアナ医科大学 東横病院 脳神経・脳卒中センター センター長/診療教授 植田敏浩	
4	11/27(火)		消化器の老化と関連疾患の予防	聖マリアナ医科大学 内科学(消化器・肝臓内科) 教授 伊東文生	
5	12/4(火)		健康寿命延伸のための高血圧症の非薬物療法	聖マリアナ医科大学 内科学(腎臓・高血圧内科) 教授 柴垣有吾	

受講登録者数 71名(男性 46名 女性 25名) 延べ人数 312名

新たなセカンドライフの創造 その3					
C	【定員】50名		【受講料】4,110円		
	生活		【時間】毎回13時30分～15時00分(計5回)		
概要	人生100年時代の高齢期におけるセカンドライフの創造に向けて、自分らしい生き方を通して生涯現役を貫き、地域の課題解決に貢献できる活動・働き～生きがい就労～をする上で役に立つ具体的な事例・ロールモデルが学べる講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	11/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	「やっと見つけた手応えある生き方」フィラソロピー(社会貢献)とボランティア	日本フィラソロピー研究所長 元川崎医療福祉大学教授 渡邊一雄	
2	11/14(水)		防災寺子屋の活動事例と欧州の魅力を探る「点」から「線」への旅、そのノウハウを探る	(一社)神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会理事 (一財)防災教育推進協会理事 岩永正雄	
3	11/21(水)		地域の課題解決のために、誰のためにどのような活動を生み出したらいいのか、実践を通して学ぶ	すずの会代表 鈴木恵子	
4	11/28(水)		行政との協働事業～の具体的取組みの事例紹介と「生きがい就労」	NPO 法人かわさき創造プロジェクト理事 大下勝巳	
5	12/5(水)		いつまでも活き活き～元気な高齢者の住む地域に共通すること～その先駆的プロジェクト・柏に学ぶ	東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 木村清一	

受講登録者数 21名(男性 16名 女性 5名) 延べ人数 84名

△▼△ 2018 年度後期 地域協働講座日程表 △▼△

D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その17				
【定員】70名 【受講料】8,220円				
企業連携 【時間】座学 13時30分～15時00分 現地3回の開始/終了時間は例外あり (計10回)				
概要	川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(木)	川崎市生涯学習プラザ	IoT (モノのインターネット) ビジネスの現状と展望 —かわさきIoTビジネス共創ラボについて	(公財)川崎市産業振興財団 ICT連携コーディネータ (株)アルファメディア 代表取締役社長 小湊宏之
2	10/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	チャレンジ精神と創意工夫で、ものづくりの可能性に挑む —宇宙からの微弱な電波を受ける観測機器を天文台に提供	エレックス工業(株) 代表取締役社長 内藤岳史
3	10/18(木)	川崎区	川崎港見学会—海から見る川崎臨海部と羽田空港	
4	11/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	塩分摂り過ぎ?塩分摂取量の見える化(減塩モニター)と味気のない減塩食に悩む人へ塩味を強めるソルトチップが解決	(株)河野エムイー研究所 代表取締役 河野 英一 (株)LTaste 代表取締役社長 東 和彦
5	11/8(木)	川崎市生涯学習プラザ	一冊の本との出会いが人生を変える —出版不況とネット書店台頭の中、地域密着型本屋の挑戦	株式会社北野書店 代表取締役 北野 嘉信
6	11/22(木)	川崎区	密輸を防ぐゲートキーパー 国際郵便の玄関口 —横浜税関川崎外郵便出張所・川崎東郵便局の見学	横浜税関川崎外郵便出張所総務課 橋本友二 川崎東郵便局社員
7	11/29(木)	川崎市生涯学習プラザ	かわさき長寿企業川崎タクシーグループ —ユニバーサルデザインタクシーとともに人にやさしい川崎の街へ	川崎タクシー(株) 専務取締役 関 裕之
8	12/6(木)	川崎市生涯学習プラザ	難聴と認知症の関係性からみる高齢者との対話 —コミュニケーションを活用した聴覚支援の最新研究-	ユニバーサル・サウンドデザイン(株) 代表取締役 CEO 中石 真路
9	12/13(木)	東海大学 代々木キャンパス	衛星画像で見た地球環境の変動と災害 —砂漠化、温暖化、オゾンホール など環境変動の実態に迫る	東海大学 情報技術センター 所長 教授 長 幸平
10	1/17(木)	川崎市生涯学習プラザ	高技術力の企業からなるものづくり集団「ものづくり共和国」 —企業が連携し、研究・開発から製造まで取り組む-	ものづくり共和国スタッフ 佐々木工機(株)代表取締役 佐々木 政仁

受講登録者数 59名 (男性 47名 女性 12名) 延べ人数 487名

E 最後まで自分らしく!「いきかた」は自分で決める				
【定員】5名 【受講料】4,110円				
福祉 【時間】毎回10時00分～11時30分 (計5回)				
概要	今、私たちは超高齢多死社会を生きています。その中で、これまでの医療とは違う体制が整えられ始めています。「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」という言葉をご存知ですか?人生の最終段階の医療・ケアをどうやって決めていけばいいのか、国が進める施策や現場で行われること、私たちの身に起こることを俯瞰的に学びながら、私たち自身はどうすればいいのかをゲームなども通して考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	なぜ今、「いきかた」の学びが必要なのか。	終活ジャーナリスト ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子 稚子
2	10/19(金)		人生の最終段階における医療&福祉との上手な付き合い方を学ぶ。	
3	10/26(金)		今、国が推奨する「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」とは何か。	
4	11/9(金)		「体の死とその後」について。家族としてその時どうすればいいのか。	
5	11/16(金)		大切な人と死別した後、人はどうなるのか?どう立ち直っていくのか?	

受講登録者数 27名 (男性 10名 女性 17名) 延べ人数 102人